注3

大学番号:023

意見伺い(JD)

「平成28年度設置」

計画の区分: 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻(博士課程)

注2

【意見伺い(JD)】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東京医科歯科大学 令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 学長戦略企画課

職名・氏名 係長・下田 裕巳

電話番号 03-5803-5021

(夜間) 03-5803-5021

F A X 03-5803-0273

e — mail houki.adm@tmd.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医歯学総合研究科

< 東	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻(博士課程)> ペー	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東京医科歯科大学

【連携外国大学の設置者】チリ共和国チリ大学

(2) 大 学 名 東京医科歯科大学大学院

【連携外国大学の名称】

University of Chile (Universidad de Chile)

(3) 調査対象大学等の位置

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

【連携外国大学の本部の位置】

Av. Independencia 1027, Santiago, Chile

(Av. Libertador Bernardo O'Higgins 1058, Santiago de Chile)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学長	(ヨシザワ ヤスユキ) 吉澤 靖之 (平成26年4月)		
学 部 長	(エイシ ヨシノブ) 江石 義信 (平成28年4月)	(キタガワ マサノブ) 北川 昌伸 (平成31年4月)	研究科長交代のため 平成31年4月1日(元)
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません) 。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・ チリ大学国際連携 医学系専攻 (博士課程) 博士 (医学)	医学関係	5	3 <322>	年次 人 一	人 15 <1044>	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・< >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定	開設年度から 報告年度まで	備考
区	分	4月入学 10月入学	4月入学 10月入学	4月入学 10月入学	4月入学 10月入学	4月入学 10月入学	超過率	の平均入学定 員超過率	ин <i>2</i> 5
		3人	3人	3人	3人	3人			[]内には、チリ大学 で入学手続きを行った
<i>-</i>	、 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-) [-]	(外国籍の学生数を記 載。なお、当該学生 は、3年次以降、特別 研究の進捗状況等に応
	志願者数	1 - (-)(-)	0 2 (-) (1) [0] [1]	1 2 (-) (-) [1]	0 - (-) (-) [0] [-]	(-) (-) [-]			じて、ビザを取得した 後、日本に来日する。 (28) 平成29年10月入学者向
	受験者数	1 — (—) (—) [1] [—]	0 2 (-) (1) [0] [1]	1 2 (-) (-) [1] [1]	0 — (—) (—) [0] [—]	(-) [-]	0.33 倍	_ <i>t</i> ±	けに平成29年8月に入 試を行う予定である。 (29) 平成30年10月入学者向 けに平成30年6月又は7
	合格者数	1 — (—) (—) [1] [—]	0 2 (-) (1) [0] [1]	0 2 (-) (-) [0] [1]	0 — (—) (—) [0] [—]				月に入試を行う予定で ある。(30) 令和元年10月入学者向 けに令和元年8月又は9 月に入試を行う予定で
Е	3 入学者数	1 — (-) (-) [1] [-]	0 2 (-) (1) [0] [1]	0 1 (-) (-) [0] [0]	0 — (-) (-) [0] [-]				ある。(元)
入	学定員超過率 B/A	0. 33	0. 66	0. 33	0.00	-			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - () 内には、<u>編入学の状況について外数で記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入して ください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	8年度	平成 2	9年度	平成3	O年度	令和元	元年度	令和 2	年度	備考
学	年	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	1 0 月入学	
	1 年次	1 [1] (-)	- [-] (-)	0 [-]	2 [1] (-)	0 [-]	1 [-]	0 [-]	1 [-]	- [-] (-)		[]内には、チリ大学で入学手続きを行った外国籍の学生数を記載。なお、当該学生は、3年次以じ、特別研究の進捗状況等に応じて、ビザを取得した後、日本に来
	2年次			1 [1] (-)	0 [-]	0 [-]	2 [1] (-)	0 [-]	2 [1] (-)	- [-] (-)	[-]	日する。(28) 平成29年10月入学者向けに平成29 年8月に入試を行う予定である。 (29) 平成30年10月入学者向けに平成30
	3 年次					1 [1] (-)	0 [-]	0 [-]	0 [-]	- [-] (-)	[-]	年6月又は7月に入試を行う予定である。(30) 令和元年10月入学者向けに令和元年8月又は9月に入試を行う予定である。(元)
	4 年次							1 [1]	0 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
	 	[(1]		3 2] -)		4 2] -)	[(1 2] -)	[.	-] -)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 年者の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i}}$ さい年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		ナが月帯頂点
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
对家牛皮			八十〇に十尺		うち留学生数	
平成28年度	1 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	3 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成29千皮	3 /	0 7	平成29年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成30年度	4 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
令和元年度	4 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
月相九十及	7 7	٥χ	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b)	- =	 <u>0</u>	=	0 %
【平成29年度】				
平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- =	<u>0</u> 3	=	0 %
【平成30年度】				
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- =	 <u>0</u> 4	=	0 %
【令和元年度】				
令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b)	- =	 <u>0</u>	=	0 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻ン

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

EI 0		共同	配业		È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	E-1	科日 日 授業科目の名称		共同	配业		Ė	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当 年	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼			授業科目の名称	開設科目	当年	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	
		14 🗆	次		修	択	由	授	授	師	教	手	担	I⊨			11 0	次		修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
	癌のゲノムとバイ オ情報工学		前· 後· 2前	チリ大学		3					2					癌のゲノムとバイ オ情報工学		前· 後· 2前	チリ大学		3					2		
	英語での科学論文 ディスカッション		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		1								英語での科学論文 ディスカッション		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		3		1					
共通科目	学術英語における 文法及び記述コ ミュニケーションス キル		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1					i A	共通科目	学術英語における 文法及び記述コ ミュニケーションス		1 前・	チリ大学		4		1					
群一般教	生物統計学		1 前・ 2前	チリ大学		3					1			和 · ·	詳一股敎養	生物統計学		2前 1 前 後 1 2前	チリ大学		3					1		
養科目			281											#	日本海	生物統計学Ⅱ		1 前・後・ 2前	チリ大学		3					1		
	生体医科学研究 の倫理		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1		1					生体医科学研究 の倫理		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1		1		
	初期研究研修		1前	東京医科歯 科大学	1			8	2		1		4			初期研究研修		1前	東京医科歯 科大学	1			10	1				
	小計(6科目)	-	-	-	1	15	0	9	4	0	5	0	4			小計(7科目)	-	-	-	1	19	0	11	1	0	4	0	0
	細胞生理学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		1								細胞生理学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		1					
	癌に関わる細胞及 び分子生物学		1 前· 2前 1	チリ大学		4		1								癌に関わる細胞及 ぴ分子生物学		1 前· 後· 2前 1	チリ大学		5		1	1				
	システム生理学		· 後· 2前 1	チリ大学		5			1							システム生理学		・ 前・ 後・ 2前 1	チリ大学		5			1				
	免疫学入門		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1							免疫学入門		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
	基礎薬理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1							基礎薬理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
共通	分子微生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4					1				Ļ z	分子微生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4					1		
迪科目群基	臨床研究の方法 論の基礎		前· 後· 2前	チリ大学		3		1						利 E 表		臨床研究の方法 論の基礎		前· 後· 2前 1	チリ大学		3		1	2				
華礎科目														有	整件目	細胞・分子生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		5		1	1				
	バイオインフォマ		1 前·	東京医科歯				0			1		5			研究の生体倫理 ビッグデータ解析		後・ 2後 1 前・	チリ大学 東京医科歯		3		•			1		4
	ティクス		後· 2前	科大学		2		2		2	'		5			学 消化管外科学研		後· 2前	科大学 東京医科歯		1		1			1		•
																究概論 総合外科学研究		1後	科大学東京医科歯		4		1					
																概論 先制医歯理工学		1後	科大学東京医科歯		4		1					
																概論 I 先制医歯理工学		前・ 2前 1	科大学東京医科歯		1		1					
																元制区图理工于 概論 II		後· 2後	科大学		1		1					
	小計(8科目)	-	-	-	0	31	0	5	3	2	2	0	5			小計(14科目)	-	-	-	0	49	0	7	7	0	2	0	4

科目	12 M N P - 2 Y	共同	配当	8850 1 ***		単位数				員等			兼任	Ŧ	4目	10 46 51 72 - 5 77	共同	画出
区分	授業科目の名称	開設 科目	年次	開設大学	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担	Ē	≅分	授業科目の名称	開設 科目	午
	細胞·分子生物学 上級		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		3		1			1					細胞·分子生物学 上級		1 前 後 2 前
	器官系統特殊生 理病理学		前· 後· 2前	チリ大学		5		1								器官系統特殊生 理病理学		前後2前
	細胞分子免疫学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5					1					細胞分子免疫学		1 前後 2前
	遺伝医学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		1			1					遺伝医学		1 前後 2前
	人類生化学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		2								人類生化学		1 前後 2前
	生体医科学におけ る細胞シグナル伝 達		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		2								生体医科学におけ る細胞シグナル伝 達		1 前後 2前
共通	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前 後 2前	チリ大学		3			2						共通	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前後 2 前
科目群応	疫学		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		3			1						科目群応	疫学		1 前後 2 前
用科目															用科目	バイオインフォマ ティクス1		1前後21
																バイオインフォマ ティクス2		前後21
	機能分子化学		1 前・ 2前	東京医科歯 科大学		2		3	2		1					機能分子化学		1前後2前
	疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		1 前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		4	1	2						疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		1 前後 2f
																臨床腫瘍学研究 特論		1 後 21
																疾患生命科学特論		1 前 2前
																データサイエンス 特論 I		1 前 2前
	小計(10科目)	-	- 1	-	0	36	0	14	6	2	4	0	0			小計(15科目)	-	1
研究	基礎研究演習		1 前・後・ 2前 1	チリ大学	10			1	1		4				研究	基礎研究演習		前後 2前
演習	臨床研究演習		1 前· 後· 2前	チリ大学	10			1	2						演習	臨床研究演習		1 前後 2前
	小計(2科目)	-	-	-	20	0	0	2	3	0	4	0	0	-		小計(2科目)	-	F
文献 ゼミナー	文献ゼミナール		1 前· 後· 2前	チリ大学	2			4	4		4				文献 ゼミナー	文献ゼミナール		1 前後 2前
ル	小計(1科目)	-	_	-	2	0	0	4	4	0	4	0	0		ル	小計(1科目)	-	H-

		共同	弱		È	单位数	Þ	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
-	Ample () = 1 4/ AM		1		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	細胞·分子生物学 上級		前· 後· 2前 1	チリ大学		3		1			1		
	器官系統特殊生 理病理学		前· 後· 2前	チリ大学		5		1					
	細胞分子免疫学		1 前 後 2前	チリ大学		5					1		
	遺伝医学		1 前・後・ 2前	チリ大学		5		1			1		
	人類生化学		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		5		2					
	生体医科学における細胞シグナル伝達		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		3		2					
共通	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前・後・ 2前	チリ大学		3			2				
科目群応	疫学		1 前・後・ 2前	チリ大学		3			1				
用科目	バイオインフォマ ティクス1		1 前・後・ 2前	チリ大学		2					2		
	バイオインフォマ ティクス2		1 前後 2前	チリ大学		2					2		
	機能分子化学		1 前・ 2前 1	東京医科歯 科大学		2		3			1		
	疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		5		2	1		
	臨床腫瘍学研究 特論		1 後・ 2後	東京医科歯 科大学		4		1					
	疾患生命科学特 論		1 前・ 2前	東京医科歯 科大学		2		1					
	データサイエンス 特論 I		1 前・ 2前	東京医科館科大学		1							1
\vdash	小計(15科目)	-	1	-	0	47	0	16	3	2	7	0	1
研究	基礎研究演習		前· 後· 2前 1	チリ大学	10			1	1		4		
演習	臨床研究演習		前· 後· 2前	チリ大学	10				2				
<u> </u>	小計(2科目)	-	-	-	20	0	0	1	3	0	4	0	0
文献ゼミナー:	文献ゼミナール		1 前· 後· 2前	チリ大学	3			4	4		4		
ル	小計(1科目)	-	-	-	2	0	0	4	4	0	4	0	0

		共同	配		Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	上部消化管外科 臨床基礎(チリ大		1後~2	チリ大学	修	20	由	授 3	授 3	師	1	手	担
専門科	学) 上部消化管外科 臨床応用(チリ大 学)		3~ 5	チリ大学		27		3	3		1		
目群上部:	上部消化管外科 臨床基礎(東京医 科歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	1	1	4		
消化管外	上部消化管外科 臨床応用 I (東京 医科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		1	1	1	4		
科	上部消化管外科 臨床応用Ⅱ(東京 医科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		1	1	1	4		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	4	4	1	5	0	0
	大腸肛門外科臨 床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		2	2		2		
専門科	大腸肛門外科臨 床応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		2	2		2		
目群大腸	大腸肛門外科臨 床基礎(東京医科 歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	2	1	2		
肛門外科	大腸肛門外科臨 床応用 I (東京医 科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯科大学		35		1	2	1	2		
	大腸肛門外科臨 床応用 II (東京医 科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		1	2	1	2		
	小計(5科目)	_	-	-	0	110	0	3	4	1	4	0	0
	胃腸病内科臨床 基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		3	2		1		
専門科	胃腸病内科臨床 応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
科目群胃	胃腸病内科臨床 基礎(東京医科歯 科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		3	2				
腸病内科	胃腸病内科臨床 応用 I (東京医科 歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		3	2				
	胃腸病内科臨床 応用Ⅱ(東京医科 歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		3	2				
	小計(5科目)	_	-	-	0	110	0	5	4	0	2	0	0
特別	特別研究(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学	40			7	7		4		
研究	特別研究(東京医 科歯科大学)		3 ~ 5	東京医科歯 科大学	40			29	12	9	10		
\vdash	小計(2科目) 合計(44科目)	_	-	-	80 103	0 412	0	36 44	19 24	9	14 22	0	9
	ᆸᇜᅥᆃᆇᄺᆉᆸᄼ	_	-	_	103	412	U	44	24	a	22	U	9

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。
2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。
a) 共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)、研究演習2科目(20単位)、文献ゼミナール/科目(2単位)を修得すること。
b) 共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目利目(3単位)以上、基礎科目3科目(9単位)以上、応用科目3単位)以上、基礎科目3科目(9単位)以上、応用科目3単位)以上を修得すること。
c)専門科目の「上部消化管外科」「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目(55単位)(※)を修得すること。
※指定科目については以下のとおり
①チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(チリ大学)、臨床応用(チリ大学)及び臨床応用Ⅱ(東京医科歯科大学)の3科目。
②日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用Ⅰ(東京医科歯科大学)の2科目。
②日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用Ⅰ(東京医科歯科大学)の3科目。

学)の2科目。 めから終料目である特別研究を2科目(80単位)修得すること。 e)上記a)及びb)の合計56単位、並びにc)並びにd)の総計191単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審委及び最終試験に合格すること ただし、191単位以上のうち、東京医科菌科大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について62単位以上修得すること。

£1 D		共同	配业		È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	衆
科目 区分	授業科目の名称	開設 科目	当年次	開設大学	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼扣
	上部消化管外科 臨床基礎(チリ大 学)		1後 ~2	チリ大学	TS	20	В	3	2	Bill	1	-	72
専門科	上部消化管外科 臨床応用(チリ大 学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
目群上部	上部消化管外科 臨床基礎(東京医 科歯科大学)		3 ~ 4	東京医科歯 科大学		20			2	3	2		
消化管外科	上部消化管外科 臨床応用 I (東京 医科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35			2	3	2		
科	上部消化管外科 臨床応用 II (東京 医科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8			2	3	2		
	小計(5科目)	-	_	-	0	110	0	3	4	3	3	0	0
	大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		1	3		1		
専門科	大腸肛門外科臨 床応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		1	3		1		
目群大腸	大腸肛門外科臨 床基礎(東京医科 歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		2	2		2		
肛門外科	大腸肛門外科臨 床応用 I (東京医 科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		2	2		2		
	大腸肛門外科臨 床応用 II (東京医 科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		2	2		2		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	3	5	0	3	0	0
	胃腸病内科臨床 基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		3	2		1		
専門科	胃腸病内科臨床 応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
日群胃腸	胃腸病内科臨床 基礎(東京医科歯 科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		3	1				
肠病 内 科	胃腸病内科臨床 応用 I (東京医科 歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		3	1				
	胃腸病内科臨床 応用Ⅱ(東京医科 歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		3	1				
<u> </u>	小計(5科目)	_	_		0	110	0	6	3	0	1	0	0
特別	特別研究(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学	40			7	7		3		
研究	特別研究(東京医科歯科大学)		3 ~ 5	東京医科歯 科大学	40			38	9	6	7		
_	小計(2科目)	Ŀ	_	-	80	0	0	45	16	6	10	0	0

E2

単位数 東任教員等の配置 芽

卒業要件及び履修方法 「米米安ド及の版修の公 1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な 研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。 2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。 3)共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)、研究演習2科目(20単位)、文献ゼミナール/科目(2単位)を修得すること。 b)共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目 は、応用科目3科目(9単位)以上を修得すること。 の、専門科目の「上部消化管外科」、「大腸紅門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生 の医師資格に応じて選択した分野の指定科目(55単位)(※)を修得すること。

103 445 0 51 21 6 21 0 5

学)の2科目。

合計(56科目)

学)の2科目。 めかを移料目である特別研究を2科目(80単位)修得すること。 e) 上記a) 及びb) の合計56単位、並びにc) 並びにd) の総計191単位以上を修得し、かつ必要な研究指 導定りけた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 ただし、191単位以上のうち、東京医科歯科大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学 が開設する授業科目について62単位以上修得すること。

【平成28年度】

【平成29年度】

_	P成28年度』											_	*	<u> </u>	P成29年度』												一茶
科目		共同	配当			单位数				員等			任	科目		共同開設	配当			単位				員等			任
区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担	区分	授業科目の名称	開設 科目	年次	開設大学	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担
	癌のゲノムとバイ オ情報工学		1 前後 2前 1	チリ大学		3					2				癌のゲノムとバイ オ情報工学		1 前後 2 1	チリ大学		3					2		
共通科目群	英語での科学論文 ディスカッション		前· 後· 2前	チリ大学		3		1						共通科目群	英語での科学論文 ディスカッション		前· 後· 2前	チリ大学		3		1					
一般教養	生物統計学		1 前· 後· 2前	チリ大学		3					1			一般教養	生物統計学		1 前· 後· 2前	チリ大学		3					1		
科目	生体医科学研究 の倫理		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1		1			科目	生体医科学研究 の倫理		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1		1		
	初期研究研修		1前	東京医科歯 科大学	1			8	1		1		3		初期研究研修		1前	東京医科歯 科大学	1			8	1		1		2
	小計(5科目)	-	-	-	1	12	0	9	2	0	5	0	3		小計(5科目)	-	-	-	1	12	0	9	2	0	5	0	2
	細胞生理学		1 前・ 2前	チリ大学		5		1							細胞生理学		1 前後 2前	チリ大学		5		1					
	癌に関わる細胞及 び分子生物学		1 前・後・ 2前 1	チリ大学		4		1							癌に関わる細胞及 び分子生物学		1 前・後・ 2前 1	チリ大学		5		1					
	システム生理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		5			1						システム生理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		5			1				
共通科	免疫学入門		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1					共通科	免疫学入門		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
日群基礎	基礎薬理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1					日群基礎	基礎薬理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
科目	分子微生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4					1			科目	分子微生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4					1		
	臨床研究の方法 論の基礎		前· 後· 2前	チリ大学		3		1	3						臨床研究の方法 論の基礎		前· 後· 2前	チリ大学		3		1	2				
			1												細胞・分子生物学		前· 後· 2前	チリ大学		5		1	1				
	バイオインフォマ ティクス		前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		2			1		7		バイオインフォマ ティクス		前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		2			1		7
	小計(8科目)	-	-	-	0	31	0	5	6	0	2	0	7		小計(9科目)	-	-	-	0	37	0	6	6	0	2	0	7

科目		共同	配当			单位数				員等			兼任	£: □	
科日 区分	授業科目の名称	開設科目	年	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	
		14 🗆	次		修	択	由	授	授	師	教	手	担		
	細胞·分子生物学 上級		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		1			1				細上
	器官系統特殊生 理病理学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		1							器理
	細胞分子免疫学		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		5					1				細
	遺伝医学		1 前・ 後・ 2前	チリ大学		5		1			1				遺
	人類生化学		1 前· 後· 2前	チリ大学		5		2						共	人
共通科目	生体医科学における細胞シグナル伝達		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		2						通科目群	生る達
群応用科口	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			2					4応用科目	診の学
目	疫学		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			1						疫
															バテ・
															パテ・
	機能分子化学		1 前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		3	2		1				機
	疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		1 前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		5		2					疾ク
	小計(10科目)	-	-	-	0	36	0	14	5	2	4	0	0		,
研究	基礎研究演習		1 前· 後· 2前 1	チリ大学	10			1	1		4			研究	基
演	臨床研究演習		前 後 2前	チリ大学	10			1	2					演習	臨
習	コレニー くってん ロコ	-	-	-	20	0	0	2	3	0	4	0	0		
省	小計(2科目)													文献	
習 文献ゼミナール	小計(2科目) 文献ゼミナール		1 前· 後· 2前	チリ大学	2			4	4		4			ゼミナー ル	文

		共同	配		È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
_	<u> </u>		八 1		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	細胞·分子生物学 上級		前· 後· 2前	チリ大学		3		1			1		
	器官系統特殊生 理病理学		1 前・後・ 2前	チリ大学		5		1					
	細胞分子免疫学		1 前・後・ 2前 1	チリ大学		5					1		
	遺伝医学		- 前· 後· 2前 1	チリ大学		5		1			1		
共	人類生化学		前· 後· 2前	チリ大学		5		2					
通科目群	生体医科学におけ る細胞シグナル伝 達		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		2					
応用科目	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前・後・ 2前 1	チリ大学		3			2				
	疫学		前· 後· 2前	チリ大学		3			1				
	バイオインフォマ ティクス1		前・ 後・ 2前	チリ大学		2					2		
	バイオインフォマ ティクス2		1 前後: 2前 1	チリ大学		2					2		
	機能分子化学		- 前· 後· 2前 1	東京医科歯 科大学		2		3	2		1		
	疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		5		2			
<u> </u>	小計(12科目)	_	-	-	0	40	0	14	5	2	6	0	0
研究	基礎研究演習		1 前・後・ 2前 1	チリ大学	10			1	1		4		
演習	臨床研究演習		ー 前・ 後・ 2前	チリ大学	10				2				
<u> </u>	小計(2科目)	_	_		20	0	0	1	3	0	4	0	0
文献ゼミナー	文献ゼミナール		1 前· 後· 2前	チリ大学	3			5	4		4		
ル	小計(1科目)	L	_	-	3	0	0	5	4	0	4	0	0

N.O.		共同	配业		È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	上部消化管外科 臨床基礎(チリ大 学)		《 1後 ~2	チリ大学	修	20	由	授 3	授 3	師	1	手	担
専門科	上部消化管外科 臨床応用(チリ大 学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	3		1		
目群上部港	上部消化管外科 臨床基礎(東京医 科歯科大学)		3 ~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	1	1	4		
消化管外科	上部消化管外科 臨床応用 I (東京 医科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		1	1	1	4		
14	上部消化管外科 臨床応用Ⅱ(東京 医科歯科大学)		3· 4·5	東京医科歯 科大学		8		1	1	1	4		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	4	5	1	4	0	0
	大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		2	2		2		
専門科	大腸肛門外科臨 床応用(チリ大学)		3~ 5	チリ大学		27		2	2		2		
目群大腸	大腸肛門外科臨 床基礎(東京医科 歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	2	1	2		
肛門外科	大腸肛門外科臨 床応用 I (東京医 科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		1	2	1	2		
	大腸肛門外科臨 床応用 II (東京医 科歯科大学)		3· 4·5	東京医科歯 科大学		8		1	2	1	2		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	3	4	1	4	0	0
	胃腸病内科臨床 基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		3	2		1		
専門科	胃腸病内科臨床 応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
日群胃腸	胃腸病内科臨床 基礎(東京医科歯 科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		3	2				
病内科	胃腸病内科臨床 応用 I (東京医科 歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		3	2				
	胃腸病内科臨床 応用II(東京医科 歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		3	2				
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	6	4	0	1	0	0
特別	特別研究(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学	40			7	7		4		
研究	特別研究(東京医科歯科大学)		3~ 5	東京医科歯科大学	40			32	12	7	9		
<u> </u>	小計(2科目)	-	-	-	80	0	0	39	19	7	13	0	0
<u> </u>	合計(43科目)	-	-	→ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	103	409	0	46	23	7	21	0	10

卒業要件及び履修方法

1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目に 1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。
2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。
a) 共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)、研究演習2科目(20単位)、文献ゼミナール1科目(2単位)を修得すること。
b) 共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目1科目(3単位)以上、基礎科目3科目(9単位)以上、応用科目3科目(6単位)以上を修得すること。
c) 専門科目の「上部消化管外科」「大場肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目(55単位)(※)を修得すること。
※指定科目については以下のとおり
(プチ)国原価資格を持つ学生の場合、施床其能(チリ大学) 施床広田(チリ大学) あ7(施床広田 (7)

①チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(チリ大学)、臨床応用(チリ大学)及び臨床応用Ⅱ(東

①チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(チリ大学)、臨床応用(チリ大学)及び臨床応用II(東 京医科歯科大学)の3科目。 ②日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用 I(東京医科歯科大学)の2科目。 d)必修科目である特別研究を2科目(80単位)修得すること。 e)上記a)及びb)の合計56単位、並びにc)並びにd)の総計191単位以上を修得し、かつ必要な研究指 導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること ただし、191単位以上のうち、東京医科歯科大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学 が開設する授業科目について62単位以上修得すること。

#4 E		共同	配业		È	单位数	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
\vdash	上部消化管外科				修	択	由	授	授	師	教	手	担
	正部月化官外科 臨床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		4	2		1		
専門科目	上部消化管外科 臨床応用(チリ大 学)		3 ~ 5	チリ大学		27		4	2		1		
群上部消	上部消化管外科 臨床基礎(東京医 科歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	2	2	2		
7化管外科	上部消化管外科 臨床応用 I (東京 医科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		1	2	2	2		
什	上部消化管外科 臨床応用Ⅱ(東京 医科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		1	2	2	2		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	5	4	2	3	0	0
	大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		2	3		1		
専門科	大腸肛門外科臨 床応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		2	3		1		
目群大腸	大腸肛門外科臨 床基礎(東京医科 歯科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		1	3		2		
肛門外科	大腸肛門外科臨 床応用 I (東京医 科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯科大学		35		1	3		2		
	大腸肛門外科臨 床応用 II (東京医 科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯科大学		8		1	3		2		
<u> </u>	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	3	6	0	3	0	0
	胃腸病内科臨床 基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		3	2		1		
専門	胃腸病内科臨床 応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
科目群胃	胃腸病内科臨床 基礎(東京医科歯 科大学)		3~ 4	東京医科歯 科大学		20		3	2				
腸病内科	胃腸病内科臨床 応用 I (東京医科 歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		3	2				
	胃腸病内科臨床 応用 II (東京医科 歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		3	2				
<u> </u>	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	6	4	0	1	0	0
特別	特別研究(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学	40			8	7		3		
研究	特別研究(東京医 科歯科大学)		3~ 5	東京医科歯 科大学	40			32	13	7	8		
\vdash	小計(2科目)	_	_	-	80	0	0	40	20	7	11	0	0
<u> </u>	合計(46科目)	-	_	- -	104		0	46	25	7	20	0	9

卒業要件及び履修方法

1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。
2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。

3)共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)、研究演習2科目(20単位)、文献ゼミナール1科目(2単位)を修得すること。
b)共通科目目称のうち、選択科目である一般教養科目1科目(3単位)以上、基礎科目3科目(9単位)以上、応用科目3科目(6単位)以上を修得すること。

。専門科目の「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択に分野の指定科目(56単位)(※)を修得すること。
※指定科目については以下のとおり
(3)予り国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(チリ大学)、臨床応用(チリ大学)及び臨床応用I(東
医科園科大学)の3科目。
(2)日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用I(東京医科歯科大学)の3科目。
(3)日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用I(東京医科歯科大学)の3科目。 1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目に

学)の2科目。 め 必修料目である特別研究を2科目(80単位)修得すること。 e)上記a)及びb)の合計56単位、並びにc)並びにd)の総計191単位以上を修得し、かつ必要な研究指 導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること ただし、191単位以上のうち、東京医科園科大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学 が開設する授業科目について62単位以上修得すること。

10

【平成30年度】

科目		共同	配当			单位数			任教				兼任
区分	授業科目の名称	開設 科目	年次	開設大学	必	選	自	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	癌のゲノムとバイ オ情報工学		1 前· 後· 2前	チリ大学	修	3	由	1x	1x	pih	2	Ŧ	担
	英語での科学論文 ディスカッション		1 前· 2前	チリ大学		3		1					
共通科目群一般教養	学術英語における 文法及び記述コ ミュニケーションス キル		1前後前1前	チリ大学		4		1					
科目	生物統計学		後・ 2前 1	チリ大学		3					1		
	生体医科学研究 の倫理		前· 後· 2前	チリ大学		3			1		1		
	初期研究研修		1前	東京医科歯 科大学	1			8			1		2
	小計(6科目)	-	1	-	1	16	0	10	1	0	5	0	2
	細胞生理学		前· 後· 2前	チリ大学		5		1					
	癌に関わる細胞及 び分子生物学		1 前・ 2前 1	チリ大学		5		1	1				
	システム生理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		5			1				
	免疫学入門		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
共通科	基礎薬理学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4			1				
日群基礎	分子微生物学		前· 後· 2前 1	チリ大学		4					1		
W 科目	臨床研究の方法 論の基礎		前 後 2前	チリ大学		3		1	2				
	細胞・分子生物学		· 前· 後· 2前	チリ大学		5		1	1				
	ビッグデータ解析 学		ー 前・ 後・ 2前	東京医科歯 科大学		1		2			1		3
	消化管外科学研 究概論		1後	東京医科歯 科大学		4		1					
	総合外科学研究 概論		1後	東京医科歯 科大学		4		1					

54 D		共同	配业		Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
-			次		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	細胞·分子生物学 上級		前 後 2前	チリ大学		3		1			1		
	器官系統特殊生 理病理学		1 前・ 2前	チリ大学		5		1					
	細胞分子免疫学		1 前・ 2前	チリ大学		5					1		
	遺伝医学		1 前・ 2前	チリ大学		5		1			1		
	人類生化学		1 前 後 2前	チリ大学		5		2					
共通	生体医科学におけ る細胞シグナル伝 達		1 前· 後· 2前	チリ大学		3		2					
科目群応	診断・臨床研究へ の応用分子生物 学		1 前· 後· 2前	チリ大学		3			2				
用科目	疫学		1 前・ 後前 2前	チリ大学		3			1				
	バイオインフォマ ティクス1		1 前後・ 2前	チリ大学		2					2		
	バイオインフォマ ティクス2		1 前後・ 2前	チリ大学		2					2		
	機能分子化学		1 前・ 2前	東京医科歯 科大学		2		3	2		1		
	疾患予防パブリッ クヘルス医学概論		1 前· 後· 2前	東京医科歯 科大学		2		5		2			
	臨床腫瘍学研究 特論		1 後・ 2後	東京医科歯 科大学		4		1					
<u> </u>	小計(13科目)	-	-	-	0	44	0	15	5	2	6	0	0
研究	基礎研究演習		1 前・ 後・ 2前 1	チリ大学	10			1	1		4		
演習	臨床研究演習		ー 前・ 後・ 2前	チリ大学	10				2				
	小計(2科目)	_	_	-	20	0	0	1	3	0	4	0	0
文献ゼミナー:	文献ゼミナール		1 前· 後· 2前	チリ大学	3			5	4		4		
ル	小計(1科目)	-	-	-	3	0	0	5	4	0	4	0	0

T.,		共同	配		Ì	単位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	開設科目	当年次	開設大学	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	上部消化管外科 臨床基礎(チリ大 学)		火 1後 ~2	チリ大学	修	20	в	授 4	授 2	師	1	手	担
専門科口	上部消化管外科 臨床応用(チリ大 学)		3 ~ 5	チリ大学		27		4	2		1		
目群上部灣	上部消化管外科 臨床基礎(東京医 科歯科大学)		3~ 4	東京医科歯科大学		20		1	2	2	2		
消化管外科	上部消化管外科 臨床応用 I (東京 医科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯 科大学		35		1	2	2	2		
17	上部消化管外科 臨床応用II(東京 医科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		1	2	2	2		
L	小計(5科目)	旦	旦	-	0	110	0	5	4	2	3	0	0
	大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		2	3		1		
専門科日	大腸肛門外科臨 床応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		2	3		1		
目群大腸口	大腸肛門外科臨 床基礎(東京医科 歯科大学)		3~ 4	東京医科歯科大学		20		2	2		2		
肛門外科	大腸肛門外科臨 床応用 I (東京医 科歯科大学)		4 ~ 5	東京医科歯科大学		35		2	2		2		
	大腸肛門外科臨 床応用 II (東京医 科歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯 科大学		8		2	2		2		
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	4	5	0	3	0	0
	胃腸病内科臨床 基礎(チリ大学)		1後 ~2	チリ大学		20		3	2		1		
専門科	胃腸病内科臨床 応用(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学		27		3	2		1		
日群胃腸	胃腸病内科臨床 基礎(東京医科歯 科大学)		3~ 4	東京医科歯科大学		20		3	1				
病内科	胃腸病内科臨床 応用 I (東京医科 歯科大学)		4~ 5	東京医科歯科大学		35		3	1				
	胃腸病内科臨床 応用 II (東京医科 歯科大学)		3• 4•5	東京医科歯科大学		8		3	1				
	小計(5科目)	-	-	-	0	110	0	6	3	0	1	0	0
特別研究	特別研究(チリ大学)		3 ~ 5	チリ大学	40			8	7		3		
究	特別研究(東京医科歯科大学)		3~ 5	東京医科歯科大学	40			34	11	7	8		
⊢	小計(2科目) 合計(50科目)	H	H		80 104	0 434	0	42 48	18 24	7	11 20	0	0 5
	D B1 (3014 D7	ت	نا	△				40	24	٥	20	U	υ

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

1)修了要件は、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について191単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。
2)修得すべき191単位の履修方法は次のとおりとする。
a)共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)、研究演習2科目(20単位)、文献ゼミナール1科目(2単位)を修得すること。
b)共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目の初期研究研修(1単位)以上、基礎科目3科目(9単位)以上、応用科目3科目(6単位)以上を修得すること。
)専門科目の「上部消化管外科」「大規肛門外科」、「胃腸病内科」の3分野から1分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目(55単位)(※)を修得すること。
※指定科目については以下のをおり(1)チリス学の場合、臨床基礎(チリ大学)、臨床応用(チリ大学)及び臨床応用I(東京医科歯科大学)の3科目。
(2)中本国場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用(東京医科歯科大学)の3科目。
(2)中本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎(東京医科歯科大学)、臨床応用I(東京医科歯科大学)の2科目。
d)必修科目である特別研究を2科目(80単位)修得すること。
。)上配引及が助りの合計56単位、並びにの)並びに付の総計191単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。
ただし、191単位以上のうち、東京医科歯科大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について41単位以上、チリ大学が開設する授業科目について62単位以上を得すること。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が 1ページに表示されるように</u>してください。)
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

・修得単位数が多いため、授業内容が類似している「英語での科学論文ディスカッション」及び「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」を「英語での

・修得単位数が多いため、授業内容が類似している「央語での科学論ステイスカッショシ」及び「学術央語における文法及び記述コミュニケーショシスキル」を「央語での科学論文ディスカッション」の1科目に統合。
・担当者の変更のため、「初期研究研修」の専任教員等の配置を「教授8」、「准教授2」、「助教1」から「教授8」、「准教授1」、「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
・担当者の変更のため、「臨床研究の方法論の基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「准教授3」に変更。
・贈位及び担当者の変更のため、「臨床研究の方法論の基礎」の専任教員等の配置を「教授2」、「講師2」、「助教1」から「教授2」、「講師0」、「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担7」に変更。
・職位の変更のため、「疾患予防パブリックヘルス医学概論」の専任教員等の配置を「教授4」、「准教授1」、「講師2」から「教授5」、「准教授0」、「講師2」に

変更

変更。 ・職位変更及び担当者変更のため、「特別研究(『 「准教授12」、「講師7」、「助教9」に変更。 「特別研究(東京医科歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授29」、「准教授12」、「講師9」、「助10」から「教授32」、

【平成29年度】

・チリス学にて単位数が変更された理田により、「又献ゼミナール」の単位数か「2」から「3」に変更。 ・職位及び担当者変更のため、「文献ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授4」、「准教授4」、「助教4」から「教授5」、「准教授4」、「助教4」に変更。 ・職位変更のため、「上部消化管外科臨床基礎(チリ大学)」及び「上部消化管外科臨床応用(チリ大学)」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授3」、「助教1」 から「教授4」、「准教授2」、「助教1」に変更。 ・職位変更のため、「上部消化管外科臨床基礎(東京医科歯科大学)」、「上部消化管外科臨床応用I(東京医科歯科大学)」及び「上部消化管外科臨床応用Ⅱ(東京医科 歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「助教4」から「教授1」、「准教授2」、「講師2」、「助教2」に変更。 ・職位変更のため、「大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)」及び「大腸肛門外科臨床応用(チリ大学)」の専任教員等の配置を「教授2」、「准教授2」、「前教2」から

から「教授4」、

・喊位変更のため、「人勝肛門外科協体基礎(デリス学)」及び「人勝肛門外科協体応用(デリス学)」の専任教員等の配直を「教授之」、「准教授2」、「強教力」、「東京教育」、「助教2」がら「教授2」、「東京医科協科大学)」、「「推教授3」、「助教1」に変更。 ・職位変更のため、「大腸肛門外科臨床基礎(東京医科協科大学)」、「大腸肛門外科臨床応用 I (東京医科協科大学)」及び「大腸肛門外科臨床応用 II (東京医科協科大学)」の専任教員等の配置を「教授1」、「推教授3」、「助教2」に変更。 ・職位変更のため、「特別研究(デリ大学)」の専任教員等の配置を「教授7」、「推教授7」、「助教4」から「教授8」、「准教授7」「助教3」に変更。 ・職位変更及び担当者変更のため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授32」、「推教授12」、「講師7」、「助教9」から「教授32」、「准教授13」、「講師7」、「助教9」から「教授32」、「准教授13」、「開師7」、「助教9」がら「教授32」、「

【平成30年度】

【平成30年度】

・チリ大学で英語科目の内容充実させるため、単位数を変更し、「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」の科目を新たに追加。
・担当者変更のため、「初期研究研修」の専任教員等の配置を「教授8」、「准教授1」、「助教1」から「教授8」、「准教授0」、「助教1」に変更。
・担当者変更のため、「癌に関わる細胞及び分子生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「准教授1」に変更。
・東京医科歯科大学の大学院改組により、「バイオインフォマティクス」を再編成し、科目名称を「ピッグデータ解析学」とし、単位数が「2」から「1」、専任教員の配置を「教授2」、「講節2」、「助教1」がら「教授2」、「助教1」に変更。
・担当者変更のため、「大腸肛門外科臨床基礎(東京医科歯科大学)」、「大腸肛門外科臨床応用1(東京医科歯科大学)」及び「大腸肛門外科臨床応用1(東京医科歯科大学)」の事任教員等の配置を「教授1」、「推教授3」、「助教2」から「教授2」、「財教2」がら「教授2」、「助教2」が多「教授2」、「助教2」が多「教授2」、「助教2」が多「教授3」、「助教2」が多「教授3」、「財教2」が多「教授3」、「助教2」が多「教授3」、「財教2」が多「教授3」、「財教2」が多「教授3」、「非教授2」、「財教2」に変更。・担当者変更のため、「胃腸病内科臨床応用1(東京医科歯科大学)」、「胃腸病内科臨床応用1(東京医科歯科大学)」、「胃腸病内科臨床応用1(東京医科歯科大学)」、「胃腸病内科臨床応用1(東京医科歯科大学)」の専任教員等を「教授3」、「推教授2」、「推教授2」、「推教授3」、「推教授3」、「「请前7」、「前教8」から「教授34」、「職位変更及び出当者変更のため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授32」、「准教授13、「講師7」、「助教8」から「教授34」、「「推教授11」、「講師7」、「助教8」に変更。

・職位変更及び担当者変更のため、「特別研究(見「准教授11」、「講師7」、「助教8」に変更。

【令和元年度】

- 「初期研究研修」の専任教員等の配置を「教授8」、「准教授0」、「助教1」、「兼任・兼担2」から「教授10」、「准教授1」、「助教0」、 「兼仟・兼担〇」に変更
- 「飛仕・飛担り」に変え。 ・チリ大学で科目を充実させるため、「生物統計学Ⅱ」及び「研究の生体倫理」の科目を新たに追加。 ・担当者変更のため、「ピッグデータ解析学」の専任教員等の配置を「教授2」、「助教1」、「兼任・兼担3」から「教授1」、「助教1」、「兼任・兼担4」に変更。 ・東京医科歯科大学で科目を充実させるため、「先制医歯理工学概論Ⅰ」、「先制医歯理工学概論Ⅱ」、「疾患生命科学特論」及び「データサイエンス特論Ⅰ」の科目を新
- たに追加。 ・担当者変更のため、「機能分子化学」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授2」、「助教1」から「教授3」、「准教授0」、「助教1」に変更、 ・担当者変更のため、「疾患予防パブリックヘルス医学概論」の専任教員等の配置を「教授5」、「講師2」、「助教0」から「教授5」、「講師2」、 ・ 「助教1」に変更。 「誰師2」、「助教1」に変
- x:。 ・担当者変更のため、「文献ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授5」、「准教授4」、「助教4」から「教授4」、「准教授4」、「助教4」に変更。 ・担当者変更のため、「上部消化管外科臨床基礎(チリ大学)」及び「上部消化管外科臨床応用(チリ大学)」の専任教員等の配置を「教授4」、「准教授2」、「助教

・担当者変更のため、「上部消化管外科臨床基礎(チリ大学)」及び「上部消化管外科臨床応用(チリス学)」の専仕教員寺の配直を「教授4」、「准教授2」、「助教 1」から「教授3」、「准教授2」、「助教 1」に変更。
・担当者変更のため、「上部消化管外科臨床基礎(東京医科歯科大学)」、「上部消化管外科臨床応用 I (東京医科歯科大学)」及び「上部消化管外科臨床応用 I (東京医科歯科大学)」及び「上部消化管外科臨床応用 I (東京医科歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師3」、「助教2」に変更。
・担当者変更のため、「大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)」及び「大腸肛門外科臨床応用(チリ大学)」の専任教員等の配置を「教授2」、「准教授2」、「助教 1」から「教授1」、「准教授3」、「助教 1」に変更。
・担当者変更のため、「特別研究(チリ大学)」の専任教員等の配置を「教授8」、「准教授7」、「助教3」から「教授7」、「推教授7」、「財教3」、「推教授7」、「財教3」、「推教授3」、「推教授7」、「財教3」に変更。
・担当者変更のため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の専任教員等の配置を「教授84」、「准教授1」、「講師7」、「助教8」から「教授88」、「准教授

「助教7」に変更。

- (注)・2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

			į	设置時	の計画								変	更	犬況				備考
	必	俢	選打	尺	自	由	計(A)		必修	5	ì	選択		自由	1	計) 拥
東京医科歯科大学	2	科目	12	科目	0	科目	14	科目		2 0	科目	19	科 7	目]	0 [0	科目	21	科目	
チリ大学	4	科目	26	科目	0	科目	30	科目]	4 0	科目	31	科 5	目]	0 [0	科目	35 [科目	
共同開設科目	0	科目	0	科目	0	科目	0	科目]	0 0	科目	0	科 0	目]	0 [0	科目	0 [0	科目	

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例: 1科目滅の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,	代替措置の有無
				=+ 1/ 4-1				
				該当なし	•			
		_						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	チリ大学	学術英語における文法 及び記述コミュニケー ションスキル	3	1年前・ 後・2前	一般	選択	「英語での科学論文ディスカッション」 と統合したため(28)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

修得単位数が多いことから、授業内容が類似している「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」 を「英語での科学論文ディスカッション」へ統合することとした。指導教員を通じて学生へ充分に説明を行うととも に、選択科目であるため学生及び専攻の運営に支障はない。(28)

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目(3)と廃止科目(4)の計
 =
 1

 設置時の計画の授業科目数の計(A)
 =
 44

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内				容			備考
(1)		区	分			専	用	共	用		ŧ用する ዸ校等の			計	
校		校 ء	き敷 地	<u>t</u>			77, 695 m²		()m²		0r	'n	77, 695 m²	
1X		運動	場用地	ļ.			19, 972m²		()m²		0r	ที่	19, 972m²	
地		小	計	-			97, 667m²		()m²		0r	n [†]	97, 667 m²	
等		そ	の他	ļ			13, 929 m²		()m²		0r	n ²	13, 929 m²	
		合	計	-			111, 596㎡		()m ¹		0r	n	111, 596m²	
						専	用	共	用		ŧ用する ዸ校等の			計	
(2) 校			舎				125, 398 m ²		()mi		0r	'n	125, 398 m °	
						(125, 3	198m²)	((0m²)		(0m²))	(1	25, 398 ㎡)	
				講	義	室	演	室	実験乳	習室	情報処	1.理学習加理学習加速	色設 :	吾学学習施設 	
(3) 教		室	等			83室	Ē	52室		556室			2室	0室	
	車厂物品研究								<u> </u>	(補目	助職員0人	(:	補助職員0人)		
(4) 専	専任教員研究室 東				東京	医科歯	新設学部 科大学・チリ	等の名称 J大学国際:	連携医学系	専		室 16	数	· 	平成31年4月 専任教授1名を新規採用 のため(元)
	1)等住教員研究至				X	書		<u>女</u> 雑誌				15		<u> </u>	57255 (38)
(5)	亲	新設学			ち外国			本 III 小国書〕	電子ジャ	-ナル	視聴覚	資料	機械・器具	. 標 本	
(0)		の名種	尔		3712	T T		種	〔うちタ			点		点点	
図	- H	新理工 (□ //± ///	317, 93	7 [139,	, 687)	3, 721 (2, 062]	8, 391 [1, 4		497	55, 862	************
書・	达过	専攻		(317, 9	37 [139	9, 687))	(3, 721 [(2, 062)	(8, 391 [7, 100〕)	(1, 4	449)	(497)	(55, 862)	専攻単位での特定不能な ため、申請大学全体の数
設備				317, 93	7 [139,	, 687)	3, 721 ([2, 062]	8, 391 [7, 100]	1, 4	49	497	55, 862	
		計		(317, 9	37 [139	9, 687〕)	(3, 721 [(2, 062)	(8, 391 [7, 100〕)	(1, 4	449)	(497)	(55, 862)	
(C) W			&±		面		積		閲覧區	医席 数		収	納可	能冊数	
(6) 図		書	館				5, 51	3m²			433席			377, 000冊	大学全体
(7) / *		套	合中		面		積			体育館以	外のスポ	『一ツ施訓	段の概要		
(7) 14	7)体育館					1, 66	2㎡ テニス	コート、ブ	ール、武	道館、柔	剣道場、	弓道場		大学全体	
		経費	Σ	<u> </u>	分		開設年度	完成年歷) 区	分	開設前		開設年度	完成年度	
(8)		の見	教員 1	人当り	研究	費等	一 千円	— ₹	千円 図書	購入費	_	千円	— 千I	一 千円	
積り及	費の見 積り 共 同 研 ず		究費	等	一 千円	7	千円 設備	購入費	_	千円	— f !	一 千円			
維持方の 概	[り及び] É持方法) 概 要 学生1人当り			第	1 年次	:	第2年次	第	3年次	第4年	次	第5	年次	第6年次	
		納尓	†金	_	_	千円	<u> </u>	f円 -	— 千円	_	千円	_	千円	一 千円	
	学生納付金以外の維持						要				_				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東	京 医	科 歯	科大	学 大 学 院					備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
医歯学総合研究科 (修士課程)	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
医歯理工保健学専攻	2	131	_	257	修士 (医科学) (大学) (理学) (工学学) (保D療学学) (医療设理学) (医療政等)	1.02	Н30	Н30	東京都文京区湯 島1-5-45	
医歯理工学専攻	2	_	_		(グローバル健康(方字)(修士学)(歯理学)(工口腔療管(工理療(医療(医療(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)(できたり)		_	H24		平成30年度より 学生募集停止
(博工課程) <u>医歯学専攻</u>	4	181	_	724	博士 (医学) (歯学) (数理医科学) (学術)	1. 22	H30	Н30		
<u>生命理工医療科学専攻</u>	3	25	_	75	博士 (理学) (工学) (保健学)	0. 72	Н30	H30		
医歯学系専攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	П	-	H24		平成30年度より 学生募集停止
生命理工学系専攻	3	_	_	_	博士 (理学) (工学)	Ι	-	H24		平成30年度より 学生募集停止
口腔機能再構築学系専 攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	Ι	_	H12		平成24年度より 学生募集停止
顎顔面頸部機能再建学 系専攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	Ι	-	H11		平成24年度より 学生募集停止
生体支持組織学系専攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	-	_	H12		平成24年度より 学生募集停止
環境社会医歯学系専攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	-	-	H12		平成24年度より 学生募集停止
老化制御学系専攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	_	-	H12		平成24年度より 学生募集停止
全人的医療開発学系専 攻	4	_	_	_	博士 (医学) (歯学) (学術)	_	-	H11		平成24年度より 学生募集停止

認知行動医学系専攻	4	_	_	-	博士 (医学) (歯学) (学術)	_	_	H11		平成24年 学生募集	
生体環境応答学系専攻	4	-	_	_	(子州) 博士 (医学) (歯学) (学術)	_	_	H12		平成24年 学生募集	
器官システム制御学系 専攻	4	-	_	-	博士 (医学) (歯学) (学術)	_	_	H12		平成24年 学生募集	
先端医療開発学系専攻	4	-	_	-	博士 (医学) (歯学) (学術)	_	-	H12		平成24年 学生募集	
東京医科歯科大学・チ リ大学国際連携医学系 <u>専攻</u>	5	3	_	15	博士(医学)	0. 33	H28	H28			
東京医科歯科大学・ チュラロンコーン大学 国際連携歯学系専攻	5	3	_	15	博士(歯学)	0. 75	H28	H28		平成28年 設	度8月開
保健衛生学研究科 (博士課程(前期)) 生体検査科学専攻	2	1	_	_	修士 (保健学)	_	П	H13	東京都文京区湯 島1-5-45	平成30年 学生募集	
(博士課程(後期)) 総合保健看護学専攻	3	_	_	_	博士 (看護学)	_	_	H13		平成28年 学生募集	
生体検査科学専攻	3	_	-	_	博士 (保健学)	_	_	H13		平成30年 学生募集	
(博士課程) 看護先進科学専攻	5	13	_	65	博士 (看護学)	0. 90	_	H26			
共同災害看護学専攻	5	2	_	10	博士 (看護学)	0. 80	_	H26			
大学の名称	東	京 医	科 歯	科大	学					備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍					
医学部 医学科	6	101	2年次 5	631	学士 (医学)	1.00	-	S26	東京都文京区湯島1-5-45		
保健衛生学科	4	90		360	学士 (看護学) (保健学)	1. 01	_	H元			
歯学部 歯学科	6	53		318	学士 (歯学)	0. 99	_	S26			
口腔保健学科	4	32	2年次 5	155	学士 (口腔保健学)	1. 03	_	H16			
			3年次 6								

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

(1)一① 担当教員表 <東京医科歯科大学>

		歯科大学> は届出時】	[平	成28:	生度】	[4	成29	在 庶】	【平	式30 ⁴	主度1	【今系	0元年月	fr1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		北川 昌伸 (59) <平成28年4月> 博士(医学)			北川 昌伸 (59) <平成28年4月> 博士(医学)			北川 昌伸 (60) 《平成28年4月》 博士(医学)			北川 昌伸 (61) <平成28年 4月> 博士(医学)			北川 昌伸 (62) <平成28年4月> 博士(医学)
専	教授	疾患予防パブリックヘルス医学 概論 病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	疾患予防パブリックヘルス医学 概論 病内科臨床基礎 胃膳病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	疾患予防パブリックヘルス医学 概論病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	疾患予防パブリックへルス医学 概論 胃腸病内科臨床を用 胃腸病内科臨床を用 I 胃腸病内科臨床を用 I 胃腸病内科臨床を用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	疾患予防パブリックヘルス医学 概論 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)
		植竹 宏之 (52) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			植竹 宏之 (52) 《平成28年4月》 博士(医学)			植竹 宏之 (53) 《平成28年4月》 博士(医学)			植竹 宏之 (54) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			植竹 宏之 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
専	教授	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	初期研究研修 大勝肛門外科臨床基礎 大勝肛門外科臨床応用 I 大勝肛門外科臨床応用 I 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	初期研究研修 大陽肛門外科臨床基礎 大陽肛門外科臨床応用 I 大陽肛門外科臨床応用 I 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床基礎 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	初期研究研修 総合外科学研究概論 大鵬肛門外科臨床必用 I 大鵬肛門外科臨床の用 I 胃腦病内科臨床必用 I 胃腦病内科臨床必用 I 胃腦病内科臨床必用 I 胃腦病的科臨床必用 I 財態病的科臨床必用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	初期研究研修 総合批門外科臨床志雄 大勝肛門外科臨床応用 I 大陽肛門外科臨床応用 I 胃腦病内科臨床応明 I 胃腦病内科臨床応明 胃腦病内科臨床成所 I 胃胀病内科臨床成所 I 間線病内科臨床成所 I 間線病内科臨床 K 財
専	教授	塔 隆夫 (58) 《平成28年4月》 博士(歯学) 博士(工学)	専	教授	培 隆夫 (58) <平成28年4月> 博士(歯学) 博士(工学)	専	教授	培 隆夫 (59) <平成28年4月> 博士(歯学) 博士(工学)	専	教授	場 隆夫 (60) <平成28年4月> 博士(歯学) 博士(工学)	専	教授	熇 隆夫 (61) <平成28年4月> 博士(歯学) 博士(工学)
		初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	仁科 博史 (54) < 平成28年 4 月 > 博士(理学) 初期研究研修	専	教授	仁科 博史 (54) 〈平成28年4月〉 博士(理学) 初期研究研修	専	教授	仁科 博史 (55) <平成28年4月> 博士(理学) 初期研究研修	専	教授	仁科 博史 (56) 〈平成28年4月〉 博士(理学) 初期研究研修	専	教授	仁科 博史 (57) (平成28年4月) 博士(理学) 初期研究研修
		特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)	-		特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	田賀 哲也 (56) <平成28年 4月> 博士(医学)	専	教授	田賀 哲也 (56) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	田賀 哲也 (57) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	田賀 哲也 (58) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	田賀 哲也 (59) <平成28年4月> 博士(医学)
		初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	本下 淳博 (53) 《平成28年4月》 博士(蘭学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	本下 淳博 (53) 《平成28年4月》 博士(蘭学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	本下 淳博 (54) 《平成28年4月》 博士(齒学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	本下 淳博 (55) 《平成28年4月》 博士(蘭学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	本下 淳博 (56) 《平成28年4月》 博士(歯学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)
		田中 敏博 (50) 〈平成28年4月〉			田中 敏博 (50) 〈平成28年4月〉			田中 敏博 (51) <平成28年4月>			田中 敏博 (52) 〈平成28年4月〉			田中 敏博 (53) <平成28年4月>
専	教授	博士(医学) バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	博士(医学) バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	博士 (医学) バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	博士 (医学) ビッグデータ解析学 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	博士(医学) ピッグデータ解析学 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修
專	教授	石川 俊平 (40) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	石川 俊平 (40) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	石川 俊平 (41) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	石川 俊平 (42) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	非常勤課	石川 俊平 (43) 〈平成31年4月〉 博士(医学)
	7010	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)		70.10	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)		70.10	バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)		7010	ピッグデータ解析学 特別研究(東京医科歯科大学)		165	ピッグデータ解析学
専	教授	五村 啓和 (51) <平成28年4月> 博士(薬学)	専	教授	五村 啓和 (51) 《平成28年4月》 博士(薬学) 機能分子化学 特別研究(東京医科菌科大学)	専	教授	五村 啓和 (52) (52) (平成28年4月> 博士(豪学) 機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	五村 啓和 (53) (70,28年4月) (54) (70,28年4月) (70,2854) (70	専	教授	五村 啓和 (54) < 平成28年 4 月 > 博士(豪学) 様能分子化学 特別研究(東京医科曲科大学)
		影近 弘之 (55) <平成28年4月> 博士(薬学)			彩近 弘之 (55) <平成28年4月> 博士(薬学)			彩近 弘之 (56) 〈平成28年4月〉 博士(薬学)			影近 弘之 (57) 〈平成28年4月〉 博士(薬学)			彩近 弘之 (58) 〈平成28年4月〉 博士(薬学)
専	教授	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	機能分子化学 特別研究(東京医科菌科大学)	専	教授	機能分子化学 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	細谷 孝充 (49) 〈平成28年4月〉 博士(理学) 機能分子化学	専	教授	細谷 孝充 (49) (平成28年4月> 博士(理学) 機能分子化学	専	教授	細谷 孝充 (50) 《平成28年4月》 博士(理学) 機能分子化学 特別研究(東京医科曲科大学)	専	教授	細谷 孝充 (51) 〈平成28年4月〉 博士(理学) 機能分子化学	専	教授	細谷 孝充 (52) (平成28年4月> 博士(理学) 機能分子化学
		特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)						特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	山岡 昇司 (三年成28年4月) 博士(医学)	専	教授	山岡 昇司 (58) (平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	山岡 昇司 (59) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	山岡 昇司 (60) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	山岡 昇司 (61) 〈平成28年4月〉 博士(医学)
		初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	177.177	享任 · 表担 · 表任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
専	教授	担当授業科目名 高田 和生 (46) (46) (平成28年4月> 博士(医学) (株主・「カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	教授	担当授業科目名 高田 和生 (46) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	担当授業科目名 高田 和生 (47) (平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 機論 特別研究(東京医科歯科大学)	=	専	教授	担当授業科目名 高田 和生 (48) <平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	担当授業科目名 高田 和生 (49) (49) 博士(医学) 療击予防パブリックヘルス医学 機論 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	吉田 (53) (53) (本) (53) (第五(医学) 初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	吉田 (53) (53) マ 成28年4月> 博士(原学) 初期研究研修 疾患予防パブリックヘルス医学 機論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	吉田 発奉 (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54)		専		吉田 発幸 (55) (55) (75) (75) (75) (75) (75) (75)	専	教授	吉田 (56) (56) (56) 年成28年4月> 博士(医学) 初期研究研修 鉄悪予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科曲科大学)
専	教授	中田 隆夫 (53) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中田 隆夫 (53) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中田 隆夫 (54) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	_	専	教授	中田 隆夫 (55) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中田 隆夫 (56) (年成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	畑 裕 (59) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	畑 裕 (59) < 平成28年4月> 博士(医学) 特别研究(東京医科歯科大学)	専	教授	畑 裕 (60) <平成28年4月 > 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	-	専	教授	畑 裕 (61) < 平成28年4月> 博士(医学) 特别研究(東京医科歯科大学)	専	教授	畑 裕 (62) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	上村 公一 (57) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	上村 公一 (57) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	上村 公一 (58) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	上村 公一 (59) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	專	教授	上村 公一 (60) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	河原 和夫 (59) (59) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	専	教授	河原 和夫 (59) < 平成28年4月 > 博士(医学) 特别研究(東京医科歯科大学)	専	教授	河原 和夫 (60) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	_	専	教授	河原 和夫 (61) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	河原 和夫 (62) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)
専	教授	高瀬 浩造 (60) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	高瀬 浩造 (61) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	高瀬 浩造 (62) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	高瀬 浩造 (63) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	高瀬 浩造 (64) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	伏見 清秀 (55) (平成284年 4月) 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	伏見 清秀 (56) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	伏見 清秀 (57) (平成(28年4月) 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	伏見 清秀 (58) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	伏見 清秀 (59) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)
専	教授	寺田 純雄 (51) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	寺田 終雄 (51) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	寺田 純雄 (52) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	寺田 終雄 (53) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	等田 純雄 (54) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	杉原 泉 (57) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	杉原 泉 (57) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	杉原 泉 (58) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修		専	教授	杉原 泉 (59) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学) 初期研究研修	専	教授	杉原 泉 (60) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
													*	教授	博木 使整 (57) <平成31年4月> 博士(由学) 特別研究(東京医科查科大学) 初期研究研修
専	教授	田邊 勉 (60) 《平成28年 4 月》 博士 (医学) 特別研究 (東京医科歯科大学)	専	教授	田邊 勉 (60) < 平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	専	教授	田邊 勉 (61) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	田邊 勉 (62) < 平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	田邊 勉 (63) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	竹田 秀 (48) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	竹田 秀 (48) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)										
						*	教授	潜水 史朗 (465) 〈平成28年4月〉 博士 (義学) 特別研究(東京医科曲科大学)		*	教授	樹永 史朝 (440) <平成29年4月> 博士 (編学) 特別研究(東京医科曲科大学)	*	教授	岩水 史朗 (47) (平成29年4月》 博士 (皇学) 特別研究 (東京医科查科大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専作業を	担・任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼兼	延任・ 経任・)別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任 兼担 の別		職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
専	教授	担当授業科目名 秋田 惠一 (53) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	1	専	教授	担当授業科目名 秋田 惠一 (54) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	担当授業科目名 秋田 惠一 (55) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	担当授業科目名 秋田 惠一 (56) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	***	教授	担当授業科目名 秋田 惠一 (57) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	田中 真二 (53) <平成28年4月> 博士(医学)		専	教授	田中 真二 (53) <平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	田中 真二 (54) <平成28年4月> 博士(医学)		専	教授	田中 真二 (55) 〈平成28年4月〉 博士(医学)	専	10	教授	田中 真二 (56) <平成28年4月> 博士(医学)
		特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)		-		特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	立石 字貴秀 (47) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	1	専	教授	立石 字貴秀 (47) <平成28年 4 月 > 博士 (医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	立石 字貴秀 《平成28年4月》 「博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専	教授	立石 字貴秀 (49) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	792	教授	立石 宇貴秀 (50) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	特別研究(東京医科園科人子) 漢原 弘嗣 (48) (48) (48) (平成28年4月 博士(医学)	1	専	教授	特別研究(東京医科園科入子) 淺原 弘嗣 (48) 《平成28年4月> 博士(医学)	専	教授	特別		専	教授	特別研究(東京医科園科人子) 淺原 弘嗣 (50) <平成28年4月> 博士(医学)	専	70.7	数授	特別研究(東京医科園科人子) 淺原 弘嗣 (51) 《平成28年4月> 博士(医学)
		特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学) 小嶋 一幸 (53) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			特別研究(東京医科歯科大学) 小嶋 一幸 (54) 《平成28年4月> 博士(医学)				特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)
専	教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 計劃化管外科臨床応用 I 胃腸病内科臨床延用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床成用 I 特別研究 (東京医科歯科大学)	1	専	教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 部消化管外科臨床応用 I 胃腸病内科臨床还用 I 胃腸病内科臨床还用 I 胃腸病内科臨床还用 I 胃腸病内科臨床 以 時期研究 (東京医科歯科大学)	専	教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 民部消化管外科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床证用 I 特別研究(東京医科菌科大学)		専		上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 計工作分科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 情腸肉科臨床応用 I 特別研究 (東京医科歯科大学)				
														*	,	整板授	億余 正則 (43) <平成30年4月> 博士(医学) 上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床店用 I 上部消化等外科臨床店用 I
											*	教授	三宅 智 (56) 《平成30年4月》 博士(医学)	*	•	收接	特別研究 (東京医科曲科大学) 三宅 智 (57) 《平成30年4月》 博士 (医学)
													臨床置傷学研究特論 特別研究(東京医科曲科大学)				臨床置痛学研究特論 特別研究(東京医科曲科大学)
														*	•	教授	石川 飲也 (55) <平成31年4月> 博士(医学) 先制医倫理工学療施 I 先制医倫理工学療施 I
																數授	特別研究(東京医科曲科大学) 石野 史敏 (63) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
																	疾患生命科学特論 特別研究(東京医科曲科大学)
		中島 康晃 (47) <平成28年4月> 博士(医学)				中島 康晃 (47) <平成28年4月> 博士(医学)			中島 康晃 (48) <平成28年4月> 博士(医学)				中島 康晃 (49) <平成28年4月> 博士(医学)				中島 康晃 (50) <平成28年4月> 博士(医学)
専	准教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	1	専	准教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)		専		上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准	教授	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)
専	准教授	野村 港 (38) 《平成28年4月》 [博士(薬学) 機能分子化学	1	専	准教授	野村 渉 (38) 〈平成28年4月〉 博士(薬学) 機能分子化学	専	准教授	機能分子化学		専	准教授	機能分子化学				
専	准教授	特別研究(東京医科歯科大学)	1	専	准教授	特別研究(東京医科歯科大学) 平野 智也 (41) 〈平成28年4月〉 博士(薬学) 機能分子化学	専	准教授	機能分子化学		専	准教授	機能分子化学				
専	准教授	特別研究(東京医科歯科大学) 荒木 昭博 (53) (平成28年4月) 博士(医学) 胃腸病内科臨床基礎	1	専	准教授	特別研究(東京医科歯科大学) 荒木 昭博 (53) (平成28年4月) 博士(医学) 胃腸病内科臨床基礎	専	准教授	特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)				
		胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)				胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 胃腸病内科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)			胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 胃腸病內科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)								

兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼	算任・ 使担・ 使任)別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 の別	١٠	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	准教授	原 正幸 (58) <平成28年4月> 博士(医学) 初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教技	原 正幸 (59) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教授	原 正幸 (60) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)		専ジ	准教授	原 正幸 (61) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	1 准	主教 授	原 正幸 (62) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
		传/// 明光 (東京 医仲图仲人子)	兼担	! 軟接	特別明元 (果京医科園科人子)	兼担	教授	特別明第、東京医科園科八子) 金井 正義 (55) 〈平成28年4月〉 博士(豊学)	:	兼担	教授	特別明元(東京医科園科人子) 全井 正美 (56) (56) (76) (76) (1	-		數授	神が明光(東京医仲固件人子)
					初期研究研修			初期研究研修				初期研究研修				初期研究研修 特別研究(東京医科曲科大学)
每		中村 桂子 (756) 《平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 繊維 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中村 桂子 (56) <平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	教授	中村 桂子 (57) (マ成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)		専		中村 桂子 (58) 《平成28年4月》 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 微論 特別研究(東京医科歯科大学)	萼	ı (数接	中村 桂子 (59) 《平成28年4月》 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)
専	准教授	#上 明宏 < 平成28年4月> 博士(学術)			17/1/19/20 (未永區计劃计入于)			17月9月21年7月1日日十八十月				17/1992 (朱水區刊图刊八丁/				17万明元(米水區付替行入子)
		特別研究(東京医科歯科大学)		講師	山口 久美子 (40) 〈平成28年4月〉 博士(医学)		講師	山口 久美子 (41) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			講師	山口 久養子 (42) <平成28年4月> 博士(医学)			跳師	山口 久美子 (43) <平成28年4月> 博士(医学)
					特別研究(東京医科曲科大学)			特別研究(東京医科曲科大学)				特別研究(東京医科曲科大学)				特別研究(東京医科曲科大学)
専	准教授	増田 貴夫 (54) 〈平成28年4月〉 博士(医学)	専	准教技	増田 貴夫 (54) <平成28年4月> 博士(医学)	専	准教授	増田 貴夫 (55) <平成28年4月> 博士(医学)		專	准教授	增田 貴夫 (56) 〈平成28年4月〉 博士(医学)	專	1 准	数 授	增田 貴夫 (57) <平成28年4月> 博士(医学)
		初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)
専	准教授	杉内 友理子 (54) 〈平成28年4月〉 博士(医学)	専	准教技		専	准教授			専	准教授		專	1 准	軟 授	杉内 友理子 (58) (758) (平成28年4月) 博士(医学)
		特別研究(東京医科歯科大学) 小林 宏寿 (47) 《平成28年4月> 博士(医学)			特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)
専	准教授	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外移臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)														
				准备	安野 正道 (56) 〈平成28年4月〉 博士(医学)		准敬	安野 正道 (57) 〈平成28年4月〉 博士(医学)								
				授	初期研究研修 大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科曲科大学)	Ī	授	初期等实研修 大器肛門外科臨床基礎 大器肛門外科臨床応用 I 大器肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科書科大学)								
												親笠 祐介 (44) <平成29年10月> 博士(医学)				親笠 祐介 (45) <平成29年10月> 博士(医学)
										*		用化管外科学研究振動 大局肛門外科匯床結構 大局肛門外科匯床站用 I 大局肛門外科匯床站用 I 特別研究(東京医科查科大学) 開展與內科區床站機 胃肠與內科區床芯用 I 胃肠病内科區床芯用 I	•		數授	清化管外科学研究振識 大勝肛門外科臨床基準 大勝肛門外科臨床店用 I 大勝肛門外科臨床店用 I 大勝匹所(東京医科畫 特別研究(東京医科畫 東勝病内科臨床店用 I 胃肠病内科臨床店用 I 胃肠病内科臨床店用 I
専	准教授	石黒 めぐみ (42) <平成28年4月> 博士(医学)	専	准教技	石黒 めぐみ (42) <平成28年4月> 博士(医学)	専	准教授	石黒 めぐみ (43) <平成28年4月> 博士(医学)		専ジ	准教授	石黒 めぐみ (44) <平成28年4月> 博士(医学)				
7		大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	4	/E 3X 13	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用I 大腸肛門外科臨床応用I 特別研究(東京医科歯科大学)	7	/正-汉/交	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)		7		大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)				
													*	,	進敏授	工施 飲文 (51) (751)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼日 の別		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	准教授	長堀 正和 (49) 〈平成28年4月> 情末(医学) 胃維病内科臨床基礎 胃維病内科臨床基礎 胃維病内科臨床区用 I 関納内科臨床の用 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准教	長堀 正和 (49) 〈平成28年4月> 博士(医学) 『開議病内科鑑床基礎 胃腸病内科鑑床基礎 胃腸病内科鑑床応用 特別研究(東京医科歯科大学)	專	准教授	長堀 正和 (50) 《平成58年4月> 博士(医学) 野腦病內科臨床基礎 胃腦病內科臨床及用 I 胃腦病內科臨床店用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	Ą	革 准教护	長堀 正和 (51) 〈平成28年4月> 博士(医学) 開議会内科鑑床基礎 開議会内科鑑床基礎 開議会内科鑑床応用 I 特別研究(東京医科曲科大学)	専	准教授	長堀 正和 (52) 《平成28年4月》 博士(医学) 初期研究研修 開議前内科臨床基礎 胃腸前内科臨床运用 I 胃腸前内科臨床运用 I 胃腸病内科臨床运用 A
専	講師	本津書 雅 (38) <平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科曲科大学)	専	講館	本津喜 雅 (38) <平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防バブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	本津嘉 雅 (39) <平成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	4	車 講師	本津喜 雅 (40) マ甲成28年4月> 博士(医学) 疾患予防バブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)			
専	講師	清野 薫子 (37) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	海野 薫子 (37) (マ成28年4月> 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	清野 薫子 (38) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	Į.	其 講師	演野 薫子 (39) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	清野 薫子 (40) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 概論 特別研究(東京医科歯科大学)
専	講師	岡田 随象 (35) <平成28年4月> 博士(医学) パイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学)	兼有	非常的	岡田 随象 (25) 〈平成28年4月〉 博士(医学) バイオインフォマティクス	兼任	非常動膽	岡田 随象 (36) <平成28年4月> 博士(医学) パイオインフォマティクス						
			*	教授	藤原 武男 (41) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	*	教授	藤原 女男 (42) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	*	F 教授	鄰原 並男 (43) (平成29年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科維利大学)	*	教授	藤原 武男 (44) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)
専	講師	 浦山 ケビン (38) 〈平成28年4月> 博士(医学) バイオインフォマティクス 特別研究(東京医科歯科大学) 	兼任	非常	浦山 ケビン (38)(38)(平成28年4月> 情士(医学)バイオインフォマティクス	兼任	非常動師	浦山 ケビン (39) <平成28年4月> 博士(医学) バイオインフォマティクス	*	非常 解	浦山 ケビン (40) (平成28年4月> 博士(医学) ピッグデータ解析学	兼任	非常動師	浦山 ケビン (41) 〈平成28年4月> 博士(医学)
			*	教授	古村 第一 (45) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	*	教授	吉村 亮一 (46) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	4	教授	古村 第一 (47) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	*	教授	吉村 亮一 (48) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)
專	講師	井ノ口 幹人 (47) (平成28年4月> 博士(医学) 博士(医学) 上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床及用 I 上部消化管外科臨床及用 I 特別研究(東京医科曲科大学)	専	准值授	井/口 幹人 (47) 《平成27年12月》 博士(医学) 「#士(医学) 上部消化管外科臨床必得 1 上部消化管外科臨床必用 1 特別研究(東京医科畫科大学)	專	准敬授	井/口 幹人 (48) 《平成27年12月》 博士(医学) 「本社(医学) 上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床店用1 上部消化管外科臨床店用1 特別研究(東京医科酱科大学)	H.Y	· 准极	井/口 幹人 (49) 《平成27年12月> 博士(医学) 「博士(医学) 上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用1 上部消化管外科臨床応用1 特別研究(東京医科曲科大学)			
												*	跳師	関連 整 (2) 《中成31年4月》 博士(医学) 上部消化管外科維床汤德 上部消化管外科维床汤用 I 上部消化管外科维床汤用 I 限制化管外科维床汤用 I 特別研究 (東京医科德科大学)
専	講師	二村 昭元 (41) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	准報授	二村 昭元 (41) 《平成28年 4 月》 博士(医学) 特別研究(東京医科齒科大学)	専	准教授	二村 昭元 (42) <平成28年 4 月> 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	#	· 准徽 授	二村 昭元 (43) <平成28年 4 月> 博士(医学) 特別研究(東京医科齒科大学)	専	准教授	二村 昭元 (44) <平成28年 4 月> 博士 (医学) 特別研究(東京医科曲科大学)
専	講師	秋山 好光 (49) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講館	秋山 好先 (49) 《平成28年 4 月》 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	専	講師	秋山 好光 (50) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科曲科大学)	Ą	詳 師	秋山 好先 (51) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講師	秋山 好先 (52) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
専	講師	篠原 正浩 (43) <平成28年4月> 博士(農学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	講館	機原 正浩 (43) <平成28年4月> 博士(農学) 特別研究(東京医科曲科大学)	專	講師	篠原 正浩 (44) <平成28年4月> 博士(農学) 特別研究(東京医科歯科大学)	4	其 講師	 篠原 正浩 (45) < 平成28年4月> (韦士(農学) 特別研究(東京医科歯科大学) 			
専	講師	石川 敏昭 (47) (平成28年4月> 博士(医学) 大編肛門外科縣床店程 大編肛門外科縣床店用 大鵝肛門外科縣床店用 特別研究(東京医科曲科大学)	専	講聞	石川 敏昭 (47) (47) (47) (47) (42) (42) (42) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43	專	准敬授	石川 敏昭 (48) (平成28年4月) 博士(医学) 博士(医学) 大鵬紅門外科鑑床基礎 大鵬紅門外科鑑床店開 I 大鵬紅門外科鑑床店用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	報外	· 准备	石川 敏昭 (49) 《平成28年4月》 博士(医学) 大龍肛門外科鑑床基礎 大龍肛門外科鑑床応用 I 大龍肛門外科鑑床応用 I 特別研究(東京医科曲科大学)	専	准被授	石川 鮫昭 (50) 平成28年4月> 博士(医学) 大鵬江門外科臨床基礎 大鵬江門外科臨床応用I 大鵬紅門外科臨床応用I 特別研究(東京医科曲科大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 龄) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専 (調)	助教	小田椿 智之 (37) 〈平成28年4月〉 学士(医学)	専 (調)	助教	小田楠 智之 (37) (平成28年4月> 学士(医学)	専(調) 助都	小田柿 智之 (38) <平成28年4月> 学士(医学)	専(調)	助教	小田林 智之 (39) 〈平成28年4月〉 学士(医学)			22-42-0-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
												専 (調)	助教	伊藤 集 (42) 〈平成30年10月〉 博士(医学) 疾患予防パブリックヘルス医学 産動
専	助教	山本 浩平 (37) < 平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	山本 浩平 (37) 〈平成28年4月〉 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	專	助教	山本 浩平 (38) 《平成28年4月》 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	專	助教	山本 浩平 (39) <平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	山本 浩平 (40) (平成28年4月> 博士(医学) 特別研究(東京医科歯科大学)
		川田 研郎 (45) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			川田 研郎 (45) (平成27年4月) 博士 (医学)			川田 研郎 (46) <平成27年4月 博士(医学)	-		川田 研郎 (47) (47) (年度27年4月) 博士(医学)			川田 研郎 (48) (平成27年4月) 博士(医学)
専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	請師	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専		上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究 (東京医科歯科大学)	専	銀師	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	請解	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)
*	Dh. 25-	東海林 裕 (45) <平成28年4月> 博士(医学)	*	Dt. 25-	東海林 裕 (45) <平成28年4月> 博士(医学)		Dt. 26	東海林 裕 (46) 《平成28年4月》 博士(医学)		Dh #25-	東海林 裕 (47) <平成28年4月> 博士(医学)		Dt. 294	東海林 裕 (48) <平成28年4月> 博士(医学)
専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究 (東京医科歯科大学)	専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究 (東京医科歯科大学)	専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 Ⅲ 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)
専	助教	大槻 将 (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40)	専	助教	大槻 将 (40) <平成28年4月> 博士(医学)				:					
		上部清化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)			上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)			谷岡 利納						
						*	助報	(40) <平成29年4月> 学士(医学)						
									-		中川 正敏 (39) <平成30年4月> 博士(医学)			中川 正敏 (40) (平成30年4月> 博士(医学)
									*	助教	上都消化管外科臨床基礎 上都消化管外科臨床応用 I 上都消化管外科臨床応用 I 特別研究 (東京医科維科大学)	*	助教	上都消化管外科應床基礎 上都消化管外科應床応用 I 上都消化管外科應床応用 I 特別研究(東京医科維科大学)
		菊池 章史 (38) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			菊池 章史 (38) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			菊池 章史 (39) <平成28年4月> 博士(医学)			菊池 章史 (40) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			菊池 章史 (41) <平成28年4月> 博士(医学)
専	助教	大鵬肛門外科臨床基礎 大鵬肛門外科臨床応用 I 大鵬肛門外科臨床応用 I 大鵬肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科菌科大学)
		山内 慎一 (38) <平成28年4月> 博士(医学)			山内 慎一 (38) <平成28年4月> 博士(医学)			山内 慎一 (39) <平成28年4月> 博士(医学)			山内 慎一 (40) 《平成28年4月》 博士(医学)			山内 慎一 (41) <平成28年4月> 博士(医学)
専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用I 大腸肛門外科臨床応用I 特別研究(東京医科歯科大学)	専	助教	大腸肛門外科臨床基礎 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 大腸肛門外科臨床応用 I 特別研究(東京医科歯科大学)

専任・			I F	専任・			専任	- 1		-	専任・	1		専任・	1	
兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼担・ 兼任	100 de	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担 兼任	•	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等		の別	職名	保有学位等	の別	職:	保有学位等		の別	概名	保有学位等	の別	联名	保有学位等
		担当授業科目名 鈴木 仁美	ŀ			担当授業科目名 鈴木 仁美			担当授業科目名 鈴木 仁美				担当授業科目名 鈴木 仁美			担当授業科目名
		(35) <平成28年4月>				(35) <平成28年4月>			(36) <平成28年4月>				(37) <平成28年4月>			
専	助教	博士(理学)		専	助教	博士(理学)	専	助	博士(理学)		専	助教	博士(理学)			
		初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)				初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)				初期研究研修 特別研究(東京医科歯科大学)			
																111 445 445 555
																川嶋 健嗣 (50) <平成31年4月>
															教授	博士 (工学)
																特別研究(東京医科曲科大学)
		谷本 幸介 (36) <平成28年4月>				谷本 幸介 (36) <平成28年4月>			谷本 幸介 (37) <平成28年4月>				谷本 幸介 (38) <平成28年4月>			谷本 幸介 (39) <平成28年4月>
専	助教	博士(生命科学)		専	助教	博士(生命科学)	専	助	博士(生命科学)		専	助教	博士(生命科学)	専	助教	博士(生命科学)
		パイオインフォマティクス				パイオインフォマティクス			パイオインフォマティクス				ピッグデータ解析学			ピッグデータ解析学
		特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)
		森 修一 (37)				森 修一 (37)			森 修一 (38)				森 修一 (39)			森 修一 (40)
専	助教	<平成28年4月> 博士(理学)		専	助教	<平成28年4月> 博士(理学)	専	助	〈平成28年4月〉 博士(理学)		専	助教	<平成28年4月> 博士(理学)	専	助教	<平成28年4月> 博士(理学)
	-57.25	機能分子化学			-3.25	機能分子化学		33	機能分子化学		,	-37.24	機能分子化学	~		機能分子化学
		特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)				特別研究(東京医科歯科大学)			特別研究(東京医科歯科大学)
		宮脇 豊 (39)	$ \ $													
		<平成28年4月> 博士(医学)	$ \ $													
*	B+ 34-		$ \ $													
専	助教	上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I	$ \ $													
		上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科歯科大学)	$ \ $													
			$ \ $													
						岡田 卓也 (36)			岡田 卓也 (37)				岡田 卓也 (38)			岡田 卓也 (39)
						<平成28年4月> 博士(医学)			<平成28年8月> 博士(医学)				<平成28年8月> 博士(医学)			<平成28年8月> 博士(医学)
					助教	上部消化管外科臨床基礎		** 1	上部消化管外科臨床基礎		*	講師	上部消化管外科臨床基礎	*	講師	疾患予防パブリックヘルス医学 概論
						上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II 特別研究(東京医科曲科大学)			上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科曲科大学)				上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 I 特別研究(東京医科曲科大学)			上部消化管外科臨床基礎 上部消化管外科臨床応用 I 上部消化管外科臨床応用 II
																特別研究(東京医科曲科大学)
		井関 祥子														井関 祥子
		(51) <平成28年4月> 博士(学術)														(54) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
兼担	教授	14±(11m)												*	教授	14-17-m/
		初期研究研修														特別研究(東京医科歯科大学)
		笠間 健嗣												-		
		(65) <平成28年4月> 修士(理学)														
兼担	准教授	修工(埋子)														
		初期研究研修														
		Cannell David Richard												-		
		(44) <平成28年 4 月>														
兼担	准教授	博士														
		初期研究研修	$ \ $													
						高山 一		+	B U -	\exists			島山 一	-		
			$ \ $			(62) 〈平成28年4月〉 博士(医学)			(63) <平成28年4月>				(64) <平成28年4月>			
			$ \ $	兼担	教授	博士(医学)	兼拍	数	博士(医学)	\dashv	兼担	教授	博士(医学)			
			$ \ $			初期研究研修			初期研究研修				初期研究研修			
							-	-		-				-		竹内 勝之
			$ \ $													(47) 〈平成31年4月〉 修士(医科学)
			$ \ $							\dashv				兼担	教授	修士 (医科学)
			$ \ $													データサイエンス特論 I
		李网 21 女				李网 21 六	-	-		-						
		寺岡 弘文 (71) <平成28年4月>	$ \ $			寺岡 弘文 (71) <平成28年4月>										
兼任	非常勤講師	博士(理学)	$ \ $	兼任	非常勤講師	博士(理学)				-						
		初期研究研修	$ \ $			初期研究研修										
		@ J Lim				grJL. Jan	-	-	and the second	4				-		
		重水 大智 (36) <平成28年4月>	$ \ $			重水 大智 (36) <平成28年4月>			重水 大智 (37) <平成28年4月>							
兼任	非常勤講師	博士(理学)	$ \ $	兼担	講師	博士(理学)	兼主		博士(埋字)							
	6円 日司	パイオインフォマティクス	$ \ $			パイオインフォマティクス			パイオインフォマティクス							
		藤本 明洋 (36)				藤本 明洋 (36)			藤本 明洋 (37)							
本に	非常勤	<平成28年4月> 博士(保健学)	$ \ $	事に	非常勤講師	<平成28年4月>	***	非常	<平成28年4月> 博士(保健学)							
兼任	講師	82+253-35-55	$ \ $	水吐	講師		兼任	講	Đ.	7						
		バイオインフォマティクス	$ \ $			バイオインフォマティクス			バイオインフォマティクス							
			. L			ı	L		-1			1		L	1	1

専任・ 兼担 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	写任 ·	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	非常勤講師	佐藤 健吾 (43) <平成28年4月> 博士(工学) パイオインフォマティクス	兼任	非常勤講師	佐藤 健吾 (43) 〈平成28年4月〉 博士(工学)	兼任	非常勤講師	佐藤 健吾 (44) <平成28年4月> 博士(工学)							
兼任	非常勤講師	田中 紀子 (40) 〈平成28年4月〉 博士(保健学) パイオインフォマティクス	兼任	非常勤講師	田中 紀子 (40) 〈平成28年4月〉 博士(保健学) パイオインフォマティクス	兼任	非常勤講師	田中 紀子 (41) <平成28年4月> 博士(保健学) パイオインフォマティクス		兼任	非常勤講師	田中 紀子 (42) 〈平成28年4月〉 博士(保健学) ビッグデータ無析学	兼任	非常勤講師	田中 紀子 (43) <平成28年4月> 博士(保健学) ビッグデータ解析学
兼任	非常勤講師	武田 浩一 (56) 〈平成28年4月〉 博士 (情報学) パイオインフォマティクス													
			兼任	非常動酶	井元 清教 (43) 〈平成28年4月〉 博士(教理学) パイオインフォマティクス	兼任	非常動師	#元 清像 (44) 〈平成28年4月〉 博士(散理学) パイオインフォマティクス		兼任	非常動脈	井元 清像 (45) 〈平成28年4月〉 博士(教理学) ピッグデータ解析学	兼任	非常動講師	井元 清教 (46) 〈平成28年4月〉 博士(教理学) ピッグデータ解析学

	ノ大学)] 時又に	> は届出時】		【平月	戊28⊈	車度】	【平月	戈 294	拝度 】		【平月	ጲ3 0 ሷ	∓度 】	【令和	0元年月	复】
専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)		専任 兼担 兼任		氏 名 (年 齢)	専任 兼担 兼任		氏 名 (年 齢)	3	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任 兼担 兼任		氏 名 (年 齢)
あり	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名		家任の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名	の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名		₩仕 の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名	ж任 の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名
		担当授某科目名 Andrew Quest	ŀ			担当授某科目名 Andrew Quest			担当授某科目名 Andrew Quest				担当技業科目名 Andrew Quest			担当授業科目名 Andrew Quest
		<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>
		細胞・分子生物学上級 基礎研究演習				細胞・分子生物学上級 基礎研究演習			細胞・分子生物学上級 基礎研究演習				細胞・分子生物学上級 基礎研究演習			細胞・分子生物学上級 基礎研究演習
外国	教授相当	生体医科学における細胞シグナ ル伝達		外国	教授相当	生体医科学における細胞シグナ ル伝達	外国	教授相当	生体医科学における細胞シグナ ル伝達		外国	教授相当	生体医科学における細胞シグナ ル伝達	外国	教授相当	生体医科学における細胞シグナ ル伝達
	_	胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)				胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)			胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)			_	胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)			胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)
		胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)				胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)			胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)				胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)			胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)
		Andrés Couve	_			Andrés Couve			Andrés Couve	ŀ			Andrés Couve			1975-0170
		<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>			
外国	教授相当	American de arrolle		外国	教授相当		外国	教授相当	Complete all and the		外国	教授相当				
		細胞生理学				細胞生理学			細胞生理学				細胞生理学			
			ľ							Ī						Jimena Sierralta
														外国	教授	<平成31年4月>
															相当	細胞生理学
		Enrique Castellón	ŀ			Enrique Castellón			Enrique Castellón				Enrique Castellón			Enrique Castellón
		<平成28年4月>				· <平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年 4 月>
		ボー 明本 7 徳助 五パハフル 毎巻				京1-84.7 经购工17八7 开始类			細胞・分子生物学				細胞・分子生物学			細胞・分子生物学
外国	教授相 当	上部消化管外科臨床基礎(チリス 学)		外国	教授相当	癌に関わる細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学)	外国	教授相当	癌に関わる細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大		外国	教授相 当	癌に関わる細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大	外国	教授相 当	癌に関わる細胞及び分子生物学 上部消化管外科臨床基礎(チリ大
		上部消化管外科臨床応用(チリ大学)				上部消化管外科臨床応用(チリ大学)			学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学)				学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学)			学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学)
		特別研究(チリ大学)				特別研究(チリ大学)			字) 特別研究(チリ大学)				字) 特別研究(チリ大学)			字) 特別研究(チリ大学)
		Lucía Cifuentes	f			Lucía Cifuentes			Lucía Cifuentes				Lucía Cifuentes			Lucía Cifuentes
外国	教授相	<平成28年4月>		外国	教授相	<平成28年4月>	外国	教授相	<平成28年4月>		外国	教授相	<平成28年4月>	外国	教授相	<平成28年4月>
711	当	遺伝医学		7F LINE	当	遺伝医学	7FIM	当	遺伝医学		71日	当	遺伝医学	7下回	当	遺伝医学
		Ramón Rodrico				Ramón Rodrigo			Ramón Rodrigo				Ramón Rodriso			Ramón Rodrigo
		Ramón Rodrigo <平成28年4月>				Kamon Rodrigo <平成28年 4 月>			Kamon Rodrigo <平成28年4月>				Ramón Rodrigo <平成28年4月>			Kamon Kodrigo <平成28年4月>
外国	教授相 当			外国	教授相 当		外国	教授相 当			外国	教授相 当		外国	教授相 当	
		器官系統特殊生理病理学				器官系統特殊生理病理学			器官系統特殊生理病理学				器官系統特殊生理病理学			器官系統特殊生理病理学
		Luis Videla	f			Luis Videla			Luis Videla				Luis Videla			Luis Videla
外国	教授相	<平成28年4月>		外国	教授相	<平成28年4月>	外国	教授相	<平成28年4月>		外国	教授相	<平成28年4月>	外国	教授相	<平成28年4月>
21 100	当	人類生化学		-1 188	当	人類生化学	2 if left	当	人類生化学		188	当	人類生化学	7 1 MM	当	人類生化学
		Virginia Fernandez	ļ			Virginia Fernandez			Virginia Fernandez				Virginia Fernandez		-	Virginia Fernandez
		<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年 4 月>
外国	教授相 当			外国	教授相当		外国	教授相当			外国	教授相 当		外国	教授相 当	
		人類生化学				人類生化学			人類生化学				人類生化学			人類生化学
		Sergio Lavandero	f			Sergio Lavandero			Sergio Lavandero				Sergio Lavandero			Sergio Lavandero
		<平成28年4月> 生体医科学における細胞シグナ				<平成28年4月> 生体医科学における細胞シグナ			<平成28年4月> 生体医科学における細胞シグナ				<平成28年4月> 生体医科学における細胞シグナ			<平成28年4月> 生体医科学における細胞シグナ
外国	教授相 当	生体医科学における細胞ングテ ル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大		外国	教授相 当	生体医科学における細胞ングデ ル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大	外国	教授相 当	生体医科学における細胞ングデ ル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大		外国	教授相 当	生体医科学における細胞ングデ ル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大	外国	教授相 当	生体医科学における細胞ングアル伝達 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大
		学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大				学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大			学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大				学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大			学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大
		学) 特別研究(チリ大学)				学) 特別研究(チリ大学)			学) 特別研究(チリ大学)				学) 特別研究(チリ大学)			学) 特別研究(チリ大学)
		Lisette Leyton	ſ			Lisette Leyton			Lisette Leyton				Lisette Leyton			Lisette Leyton
		<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>				<平成28年4月>			<平成28年4月>
外国	教授相 当	英語での科学論文ディスカッ		外国	教授相 当	英語での科学論文ディスカッ	外国	教授相当	英語での科学論文ディスカッ		外国	教授相 当	英語での科学論文ディスカッ ション	外国	教授相 当	英語での科学論文ディスカッ ション
		英語での科子編叉ティスカッション				英語での科子編文ディスカッ ション			英語での科子編文ティスカッション				学術英語における文法及び記述 コミュニケーションスキル			学術英語における文法及び記述 コミュニケーションスキル
		Mario Uribe <平成28年4月>				Mario Uribe <平成28年4月>			Mario Uribe <平成28年4月>				Mario Uribe <平成28年4月>			Mario Uribe <平成28年4月>
		文献ゼミナール				文献ゼミナール			文献ゼミナール				文献ゼミナール			文献ゼミナール
ын	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学)		M E	教授相当	上部消化管外科臨床基礎(チリ大	서무	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学)		서로	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大	서무	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学)
外国	当	上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)		か国	当	上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	当	上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)		外国	当	学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	当	上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)
		13714(2017 7AT)				13039(2017 7AT)										大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)
																大腸肛門外科臨床応用(チリ大学)
		Carlos Castillo	ŀ			Carlos Castillo										
外国	教授相	<平成28年4月>		外国	教授相	<平成28年4月>										
\r@	当	臨床研究の方法論の基礎 臨床研究演習		\r <u>\</u>	当	臨床研究の方法論の基礎 臨床研究演習										
		Carlos Carvajal				Carlos Carvajal			Carlos Carvajal				Carlos Carvajal			
		Carlos Carvajal <平成28年4月>				Carlos Carvajal <平成28年4月>			Carlos Carvajal <平成28年4月>				Carlos Carvajal <平成28年4月>			
		文献ゼミナール				文献ゼミナール			文献ゼミナール				文献ゼミナール			
外国	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大		外国	教授相当	上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大	外国	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大		外国	教授相	上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大			
Z T SMI	当	上部消化管外科臨床応用(チリス学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大		> in sittle	当	上部消化管外科臨床応用(チリズ学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大	>r mil	当	上部消化管外科臨床応用(チリズ 学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大		z culti	当	上部消化管外科臨床応用(チリス学) 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大			
		学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大				学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大			学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大				学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大			
		学) 特別研究(チリ大学)				学) 特別研究(チリ大学)			学) 特別研究(チリ大学)				学) 特別研究(チリ大学)			
		Jaime Poniachik	ţ			Jaime Poniachik			Jaime Poniachik				Jaime Poniachik			Jaime Poniachik
	\$5,400 Am	<平成28年4月> 文献ゼミナール			\$6-10 A-	<平成28年4月> 文献ゼミナール		\$6- 100 A-	<平成28年4月> 文献ゼミナール			\$6 410 Am	<平成28年4月> 文献ゼミナール		\$6-410 A	<平成28年4月> 文献ゼミナール
外国	教授相当	自勝病内付端床差錠 (チリ大学)		外国	教授相当	(チリ大学)	外国	教授相当	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリスナン		外国	教授相当	文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学)	外国	教授相当	(チリ大学)
ĺ		胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリナ学)				胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリナ学)			胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリナ学)				胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)			胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)
	L	特別研究(チリ大学)	L		l	特別研究(チリ大学)	<u> </u>		特別研究(チリ大学)	ı L			特別研究(チリ大学)	1	1	特別研究(チリ大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国	教授相当	Javier Brahm <平成28年4月> 文献ゼミナール 胃脂病内科臨床基礎 (持分) 胃脂病内科臨床区用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	教授相当	Javier Brahm	外国	教授相当	Javier Brahm	外国	教授相当	Javier Brahm	外国	教授相当	Javier Brahm 《平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内料臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)
外国	准教授 相当	Mercedes Lopez <平成28年4月>	外国	准教授 相当		外国	准教授 相当		外国	准教授 相当	Mercedes Lopez <平成28年4月>			
		免疫学入門			免疫学入門			免疫学入門			免疫学入門			Juan Carlos Aguillón <平成31年4月>
												外国	授相当	免疫学入門
外国	准教授 相当	Gabriela Diaz <平成28年4月>	外国	准教授 相当	Gabriela Diaz <平成28年4月>	外国	准教授 相当	Gabriela Diaz <平成28年4月>	外国	准教授 相当	Gabriela Diaz <平成28年4月>			
		基礎業理学			基礎業理学			基礎薬理学			基礎業理学			Juan Diego Maya
												外国	准教 授相 当	<平成31年4月> 基礎業理学
		Mauricio Farfán <平成28年4月>			Mauricio Farfán <平成28年4月>			Mauricio Farfán <平成28年4月>			Mauricio Farfán <平成28年4月>			Mauricio Farfán <平成28年4月>
外国	准教授 相当	診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	塩床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 上部消化管外料臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外料臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	職疾研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	■疾研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	職疾等党の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		Juan Pablo Torres <平成28年4月>			Juan Pablo Torres <平成28年4月>			Juan Pablo Torres <平成28年4月>			Juan Pablo Torres <平成28年4月>			Juan Pablo Torres <平成28年4月>
外国	准教授 相当	診断・臨床研究への応用分子生 物学 物学 医院研究演習 大腸肛門外科臨床基礎 (チリ大 学) 大腸肛門外科臨床応用 (チリ大 学) 特別研究 (チリ大学)	外国	准教授 相当	職床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学、研究演習 大師肛門外科略床基礎(チリ大 学) 大鵬肛門外科略床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	職床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学・ 協床研究演習 大職肛門外科臨床基礎(チリ大 学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	事 床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 大調肛門外科臨床基礎(チリ大 学) 大調肛門外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	臨床研究の方法論の基礎 診断・臨床研究への応用分子生 物学 臨床研究演習 大勝紅門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸紅門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)
	准教授	Paulina Pino <平成28年4月>		准教授	Paulina Pino <平成28年4月>		准教授	Paulina Pino <平成28年4月>		准教授	Paulina Pino <平成28年4月>		准教授	Paulina Pino <平成28年4月>
外国	相当	疫学 基礎研究演習	外国	相当	疫学 基礎研究演習	外国	相当	疫学 基礎研究演習	外国	相当	疫学 基礎研究演習	外国	相当	疫学 基礎研究演習
外国	准教授 相当	Mariana Rojas <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	准教授 相当	Mariana Rojas <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	准教授 相当	Mariana Rojas <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	准教授 相当	Mariana Rojas 〈平成28年4月〉 生体医科学研究の倫理	外国	准教授 相当	Mariana Rojas <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理
		Patricio Burdiles <平成28年4月>			Patricio Burdiles <平成28年4月>			Patricio Burdiles <平成28年12月>			Patricio Burdiles <平成28年12月>			Patricio Burdiles <平成28年12月>
外国	准教授 相当	文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎 (チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用 (チリ大 学) 特別研究 (チリ大学)	外国	准教授 相当	臨床研究の方法論の基礎 文献ゼミナール 上部消化管外料臨床基礎 (チリ大学) 上部消化管外料臨床応用 (チリ大学) 特別研究 (チリ大学)	外国	教授相当	歴末研究の方法論の基礎 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	教授相当	連床等次の方法論の基礎 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床の用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	教授相当	臨床研究の方法論の基礎 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)
外国	准教授相当	Fernando Maluenda <平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外料臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外料臨床応用(チリ大 特別研究(チリ大学) María Isabel Jirón	外国	准教授相当	Fernando Maluenda	外国	准教授相当	Fernando Maluenda 《平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 特別研究(チリ大学) Maria Isabel Jirón	外国	准教授相当	Fernando Maluenda	外国	准教授相当	Fernando Maluenda 《平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外料臨床基礎(チリ大 上部消化管外科臨床応用(チリ大 特別研究(チリ大学) Maria Isabel Jirón
外国	准教授 相当	《平成28年4月》 文献ゼミナール 胃脂病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃脂病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	<平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	<平成28年4月> 文献ゼミナール 胃臓病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃臓病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	〈平成28年4月〉 文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	<平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内料臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内料臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学) 特別研究(チリ大学)
									外国	准教授当	Hector Contreras <平成30年4月> 癌に関わる細胞及び分子生物学	外国	准 教 授相 当	Héotor Contreras <平成30年4月> 癌に関わる細胞及び分子生物学
外国	准教授 相当	Claudio Wainstein <平成28年4月> 文献ゼミナール 大腸紅門外科館床基礎(チリ大学) 大腸紅門外科館床広用(チリ大学) 大腸紅門外科館床の用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	Claudio Wainstein < 平成28年4月> 文献ゼミナール 大陽紅門外科館店基礎(チリ大学) 大陽紅門外科館店基礎(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	Claudio Wainstein 《平成28年4月> 文献ゼミナール 大腸紅門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸紅門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	Claudio Wainstein <平成28年4月> 文献ゼミナール 大陽紅門外科館店基礎(チリ大学) 大陽紅門外科館店店選び(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授相当	Claudio Wainstein 《平成28年4月> 文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	兼兼	任・ 担・ 任)別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
外国	准教授 相当	Sergio Villanueva < 平成28年 4 月 > システム生理学 胃腸病内科循液基礎 (テリ大学) 指腸病内科循床応用 (テリ大学) 特別研究(テリ大学) Ana María Avalos	外国	准教授 相当	Sergio Villanueva 《平成28年4月》 システム生理学 胃腸病内特征床基礎 (チリ大学) 胃腸病内核症床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	Sergio Villanueva < 平成28年4月> システム生理学 胃腸病内科链床基礎 (テリ大学) 環腸病内科链床応用 (テリ大学) 特別研究(テリ大学)	5	外国	准教授 相当	Sergio Villanueva 《平成28年4月》 システム生理学 胃腸病内科協床基礎 (テリ大学) 脂瘍内科協床応用 (テリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	准教授 相当	Sergio Villanueva 《平成28年4月> システム生理学 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 精腸病内料臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)
外国	准教授相当	<平成28年4月> 学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル				外国	准教相当	Marfa Cecilia Johnson <平成29年4月> 細胞・分子生物学	,	外国	准報相当	María Cecilia Johnson 〈平成29年4月〉 細胞・分子生物学	外国	准教授相当	María Cecilia Johnson <平成29年4月> 細胞・分子生物学
外国	助教相当	Vicente Torres <平成28年4月> 細胞・分子生物学上級 基礎研究演習	外国	助教相当	Vicente Torres <平成28年4月> 細胞・分子生物学上級 基礎研究演習	外国	助教相当	Vicente Torres <平成28年4月> 細胞・分子生物学上級 基礎研究演習	5	外国	助教相当	Vicente Torres <平成28年4月> 細胞・分子生物学上級 基礎研究演習	外国	助教相当	Vicente Torres <平成28年4月> 細胞・分子生物学上級 基礎研究演習
外国	助教相当	Katherine Marcelain <平成28年4月> 癌のゲノムとパイオ情報工学	外国	助教相当	Katherine Marcelain <平成28年4月> 縮のゲノムとバイオ情報工学	外国	助教相当	Katherine Marcelain <平成28年4月> 癌のゲノムとバイオ情報工学	5	外国	助教相当	Katherine Marcelain <平成28年4月> 癌のゲノムとパイオ情報工学	外国	助教相当	Katherine Marcelain <平成28年4月> 癌のゲノムとバイオ情報工学
外国	助教相当	基礎研究演習 Ricardo Verdugo <平成28年 4 月>	外国	助教相当	基礎研究演習 Ricardo Verdugo <平成28年 4 月>	外国	助教相当	基礎研究演習 Ricardo Verdugo <平成28年4月> パイオインフォマティクス1	5	外国	助教相当	基礎研究演習 Ricardo Verdugo <平成28年4月>	外国	助教相当	基礎研究演習 Ricardo Verdugo <平成28年4月> パイオインフォマティクス1
	助教相	縮のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習 Diego Catalán <平成28年4月>			艦のゲノムとバイオ情報工学 基礎研究演習 Diego Catalán <平成28年4月>			バイオインフォマティクス2 係のケメ 人とバイオ情報工学 基礎研究演習 Diego Catalán <平成28年4月>	_			<mark>バイオインフォマティクス2</mark> 傷のケノムとバイオ情報工学 基礎研究演習 Diego Catalan 〈平成28年4月〉			バイオインフォマティクス2 係のゲノムドイオ情報工学 基礎研究演習
外国	助教作	細胞分子免疫学	外国	助教相当	細胞分子免疫学	外国 財教相当 超胞分子免疫学		細胞分子免疫学	5	外国	助教相当	細胞分子免疫学		Dh sib	Fabiola Osorio <平成31年4月>
													外国	助教相当	細胞分子免疫学
外国	助教相当	Leonor Bustamante 〈平成28年4月〉 遺伝医学	外国	助教相当	Leonor Bustamante <平成28年4月> 遺伝医学	外国	助教相当	Leonor Bustamante <平成28年4月> 遺伝医学	5	外国	助教相当	Leonor Bustamante <平成28年4月> 遺伝医学	外国	助教相当	Leonor Bustamante <平成28年 4 月> 遺伝医学
外国	助教相当	Juan Carlos Salazar <平成28年 4 月> 分子微生物学	外国	助教相当	Juan Carlos Salazar <平成28年 4 月> 分子微生物学	外国	助教相当	Juan Carlos Salazar <平成28年 4 月> 分子微生物学	5	外国	助教相当	Juan Carlos Salazar <平成28年4月> 分子做生物学	外国	助教相当	Juan Carlos Salazar <平成28年 4 月> 分子微生物学
外国	助教相当	Rodrigo Assar <平成28年4月> 生物統計学 基礎研究演習	外国	助教相当	Rodrigo Assar <平成28年4月> 生物統計学 基礎研究演習	外国	助教相当	Rodrigo Assar <平成28年4月> バイオインフォマティクス1 バイオインフォマティクス2 生物統計学 基礎研究演習	5	外国	助教相当	Rodrigo Assar <平成28年4月> バイオインフォマティクス1 バイオインフォマティクス2 生物統計学 基礎研究演習	外国	助教相当	Rodrigo Assar <平成28年4月> バイオインフォマティクス1 バイオインフォマティクス2 生物統計学 基礎研究演習
外国	助教相当	Mauricio Suárez <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	助教相当	Mauricio Suárez <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	助教相当	Mauricio Suárez <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	5	外国	助教相当	Mauricio Suárez <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理	外国	助教相当	Mauricio Suárez <平成28年4月> 生体医科学研究の倫理
外国	助教相当	Erwin Buckel 《平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外特施床基礎 (チリ大 学) 上部消化管外特施床応用 (チリ大 学) 特別研究 (チリ大学)	外国	助教相当	Erwin Buckel 《平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Erwin Buckel <平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	5	外国	助教相当	Erwin Buckel 〈平成28年4月> 文献ゼミナール 上部消化管外科臨床基礎(チリ大 学) 上部消化管外科臨床応用(チリ大 学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Erwin Buckel
外国	助教相当	Francisco López	外国	助教相当	Francisco López	外国	准敏 授相 当	Francisco López	5	外国	准教 授相 当	Francisco López	外国	准教授相当	Francisco López マ平成28年12月> 文献ゼミナール 大鵬紅門外科臨床基礎(チリ大学) 大鵬紅門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)
外国	助教相当	Ernesto Melkonian 〈平成28年4月〉 文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Ernesto Melkonian (平成28年4月> 文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床店用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Ernesto Melkonian 《平成28年4月> 文献ゼミナール 大鵝紅門外科臨床基礎(チリ大学) 大鵝紅門外科臨床広用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	5	外国	助教相当	Ernesto Melkonian 〈平成28年4月〉 文献ゼミナール 大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学) 大腸肛門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Ernesto Melkonian <平成28年4月> 交載ゼミナール 大鵬紅門外科臨床基礎(チリ大学) 大鵬紅門外科臨床応用(チリ大学) 特別研究(チリ大学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専作兼任	Ē.	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
外国	当	Rodrigo Quera < 平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内料臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	外国	助教相当	Rodrigo Quera <平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腫瘍内料臨床基礎 (チリ大学) 胃脂瘍内料臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)		外国	助教相当	Rodrigo Quera < 平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)		外国		Rodrigo Quera <平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内科臨床基礎 (チリ大学) 胃腸病内科臨床応用 (チリ大学) 特別研究(チリ大学)	Я	国	当	Rodrigo Quera <平成28年4月> 文献ゼミナール 胃腸病内料臨床基礎 (テリ大学) 胃腸病内料臨床応用 (テリ大学) 特別研究(チリ大学)
							外国	助教相当	Patricio González Hormazá bal <平成29年4月> 文献ゼミナール		外国	助教相当	Patricio González Hormazá bal 〈平成29年4月〉 文献ゼミナール	H	=	助教相当	Patricio González Hormazá bal 〈平成29年4月〉 文献ゼミナール
										-				#1	==	助教相当	Verónica Aliaga Castillo <平成31年4月>
																	研究の生体倫理

⁽注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してださい。過年度については、各年度来時点の情報として記入してください。) 認可申請書又は故麼届出書の様本第3号(その2の1)に単して作成してください。「認可時又は居出時」には 設整部の時又は届出時の教員全て「保任、来世教長を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**国可時又は周出時から京更となっている前所は太子の赤字としてください。** その上で、**国可時又は周出時から京更となっている前所は太子の赤字としてください。** 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出機等所成の手引き」の「教員名第」を確認してください。 年齢は、**それぞれの年度の支男、1日時点の重年験を**記入してください。 - 専任(専門戦大学の大学を、は例、美学)、来担、兼任の明に記入してください。 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

〈東京医科歯科大学〉

【平成28年度】

- 【平成 28 年度】

 平成28年4月に「初期研究研修」の担当者を専任教員の原正幸准教授から、兼担の金井正美教授に変更。

 平成28年4月に「初期研究研修」の担当者を専任教員の協隆夫教授、増田貴夫准教授、兼担の井関样子教授から、専任教員の植竹宏之教授に変更。

 平成28年4月に「初期研究研修」の担当者を兼担の笠間健嗣准教授から、専任教員の安正道准教授に変更。

 平成28年4月に「初期研究研修」の担当者を兼担の笠間健嗣准教授から、専任教員の安正道准教授に変更。

 平成28年4月に「初期研究研修」の担当者を兼担印公配同目 David Richard/推教授から、兼担の烏山一教授に変更。

 平成28年3月に専任教員の井上明宏准教授が他大学へ転出したため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の山口久美子講師に変更。

 平成27年5月に専任教員の小井上明宏准教授が他大学へ転出したため、「大腸肛門外科臨床基礎」、「大腸肛門外科臨床応用」」、「大腸肛門外科臨床応用」」及び「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の安野正道権教授に変更。

 平成27年5月に専任教員の宮脇豊助教が自己都合により退職したため、「上部消化管外科臨床基礎」、「上部消化管外科臨床応用」」、「上部消化管外科臨床応用」」及び「特別研究(東京医科会社大学)の担当者を専任教員の宮脇豊助教が自己都合により退職したため、「上部消化管外科臨床基礎」、「上部消化管外科臨床応用」」、「上部消化管外科臨床応用」」及び「特別研究(東京医科会社大学、10年20年代表生、東京を持て会社会社会、10年20年代表生、東京を持て会社会社会社会、10年20年代表生、東京を持て会社会社会社会、10年20年代表生、10年20年
- ・平成27年2月に専任教員の宮脇墨助教が自己都合により退職したため、「上部消化管外料臨床基礎」、「上部消化管外料臨床応用I」、「上部消化管外料臨床応用II」及び「特別研究、東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の岡田卓也助教に変更。
 ・平成28年2月に専任教員の画田随象講師が他大学へ転出したため、「バイオインフォマティクス」は非常勤講師として継続勤務し、「特別研究(東京医科歯科大学)」については担当者を専任教員の藤原武男教授に変更。
 ・平成27年12月に専任教員の浦山ケビン講師が他大学へ転出したため、「バイオインフォマティクス」は非常勤講師として継続勤務し、「特別研究(東京医科歯科大学)」については担当者を専任教員の吉村売一教授に変更。
 ・平成28年4月に専任教員の中村桂子准教授が教授に職位が変更。
 ・平成27年12月に専任教員の井口幹人講師が准教授に職位が変更。
 ・平成27年4月に専任教員の一村昭元講師が准教授に職位が変更。
 ・平成27年4月に専任教員の一村昭元講師が准教授に職位が変更。
 ・平成27年4月に専任教員の川田研郎助教が講師に職位が変更。
 ・平成27年4月に専任教員の川田研郎助教が講師に職位が変更。

- ・平成28年4月に兼任の重水大智非常勤講師が兼担の講師に職位が変更。・平成28年4月に兼任の重水大智非常勤講師が兼担の講師に職位が変更。・平成28年4月に兼任の武田浩一非常勤講師から、兼任の井元清哉非常勤講師に変更。

【平成29年度】

- ト平成28年7月に専任教員の竹田秀教授が自己都合により退職したため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の岩永史朗教授に変更。 ・平成28年12月に専任教員の大槻将助教が自己都合により退職したため、「上部消化管外科臨床基礎」、「上部消化管外科臨床応用Ⅰ」、「上部消化管外科臨床応用Ⅰ」及び「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の谷岡利朗助教に変更。
- 1919元(米末区村西代入午/)が注当者で寺にお良い石山村前旬駅に変更。 平成29年4月に「初期研究研修」の担当者を兼任の寺岡弘文菲等勤講師から、兼担の金井正美教授に変更。 平成29年4月に専任教員の石川敏昭講師が准教授に職位が変更。 平成28年8月に専任教員の岡田卓也助教が講師に職位が変更。

【平成30年度】

- ・平成30年4月に新規科目の「総合外科学研究概論」及び専任教員の安野正道准教授が他機関へ転出したため、「初期研究研修」の担当者を専任教員の植竹宏之教授に変更。 ・平成30年3月に専任教員の荒木昭博准教授が自己都合により退職したため、「胃腸病内科臨床基礎」、「胃腸病内科臨床応用I」、「胃腸病内科臨床応用I」及び「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の長堀正和准教授に変更。
- 平成30年4月に新規科目の「臨床腫瘍学研究特論」及び専任教員の荒木昭博准教授が自己都合により退職したため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者に専任教員の三宅 智教授が就任
- 好投びがに。 ・平成30年3月に専任教員の安野正道准教授が他機関へ転出したため、新規科目の「消化管外科学研究概論」、「大腸肛門外科臨床基礎」、「大腸肛門外科臨床応用Ⅰ」、「大腸 肛門外科臨床応用Ⅱ」及び「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の絹笠祐介教授に変更。 ・平成30年3月に専任教員の谷岡利朗助教が自己都合により退職したため、「上部消化管外科臨床基礎」、「上部消化管外科臨床応用Ⅰ」、「上部消化管外科臨床応用Ⅱ」及び 「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者に専任教員の中川正敏助教が就任。

【令和元年度】

- ・平成30年11月に専任教員の石川俊平教授が自己都合により退職したため、「ピッグデータ解析学」は非常動講師として継続勤務し、「特別研究(東京医科歯科大学)」については 担当者に専任教員の井関祥子教授が就任。

- で守正教員の開立的7教授に変更。
 ・平成31年3月に専任教員の井ノ口幹人准教授が自己都合により退職したため、「上部消化管外科臨床基礎」、「上部消化管外科臨床応用I」、「上部消化管外科臨床応用I」及
 び「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者に専任教員の岡崎聡講師が就任。
 ・平成31年3月に専任教員の野村渉准教授が自己都合により退職したため、「機能分子化学」の担当者変更。後任は未定。また、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任
 教員の石川飲む教授が就任。
 東西31年3月に東任教長の野村渉准教授が自己都合により退職したため、「機能分子化学」の担当者変更。後任は未定。また、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任
- 平成31年3月に専任教員の平野智也准教授が自己都合により退職したため、「機能分子化学」の担当者変更。後任は未定。また、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者に専
- ・平成31年2月に専任教員の平野智也准教授が自己都合により退職したため、「機能分子化学」の担当者変更。後任は未定。また、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者に専任教員の石野史敏教授が就任。
 ・平成30年10月に専任教員の石黒めぐみ准教授が自己都合により退職したため、「大腸肛門外科臨床基礎」、「大腸肛門外科臨床応用 I 」、「大腸肛門外科臨床応用 I 」、の担当者に専任教員の場所で、事任教員の協立、事任教員の場正に非論的が自己都合により退職したため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の金井正美教授が就任。・平成30年91に再任教員の保護に非論師が自己都合により退職したため、「特別研究(東京医科歯科大学)」の担当者を専任教員の金井正美教授が就任。・平成30年10月に調整教員の小田柿智之助教が自己都合により退職したため、専任教員の伊藤崇助教が就任。・平成31年4月に新規科目の「データサイエンス特論 I 」の担当者に兼担教員の竹内勝之教授が就任。

<チリ大学>

【平成28年度】

- 平成28年4月にMauricio Farfán准教授相当が「臨床研究の方法論の基礎」を担当。
- 平成28年4月にJuan Pablo Torres准教授相当が「臨床研究の方法論の基礎」を担当、 平成28年4月にPatricio Burdiles准教授相当が「臨床研究の方法論の基礎」を担当。

【平成29年度】

- 【平成 2 号 平度】

 平成29年4月にFinjaue Castellon教授相当が新規科目の「細胞・分子生物学」を担当。

 平成29年4月に新規科目の「細胞・分子生物学」の担当者としてMar fa Cecilia Johnson准教授相当が就任。

 平成29年4月に新規科目の「細胞・分子生物学」の担当者としてMar fa Cecilia Johnson准教授相当が就任。

 平成29年4月にFicardo Verdugo助教相当が新規科目の「パイオインフォマティクス1」及び「パイオインフォマティクス2」を担当。

 平成29年4月にRodrigo Assar助教相当が新規科目の「パイオインフォマティクス1」及び「パイオインフォマティクス2」を担当。

 平成29年4月に「Finglisco Lopez助教相当が新規科目の「パイオインフォマティクス1」及び「パイオインフォマティクス2」を担当。

 平成29年4月に「「文献ゼミナール」の担当者としてPatricio González Hormazában 教相当が献任。

 平成29年4月に「「文献ゼミナール」の担当者としてPatricio González Hormazában 教相当が教任。

- 平成29年4月にCarlos Castillo教授が死亡したため、「臨床研究の方法論の基礎」及び「臨床研究演習」の担当者変更。後任は未定。

【平成30年度】

- 平成30年4月に「癌に関わる細胞及び分子生物学」の担当者としてHéctor Contreras准教授相当が就任。 平成30年4月にLisette Leyton教授相当が新規科目の「学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル」を担当。

【令和元年度】

- 【予利ルで来及】

 ・ 平成30年3月にAndrés Couve教授相当が自己都合により退職したため、「細胞生理学」の担当者としてJimena Sierralta教授相当が就任。
 ・ 平成30年3月にCarlos Carvajal教授相当が自己都合により退職したため、「文献ゼミナール」、「上部消化管外科臨床基礎(チリ大学)」、「上部消化管外科臨床応用(チリ大学)」、「大腸肛門外科臨床基礎(チリ大学)」、「大腸肛門外科臨床応用(チリ大学)」及び「特別所究(チリ大学)」の担当者をMario Uribe教授相当に変更。
 ・ 平成30年3月にMercedes Lopez准教授相当が自己都合により退職したため、「免疫学入門」の担当者としてJuan Carlos Aguillon准教授相当が就任。
 ・ 平成30年3月にGabriela Diaz准教授相当が自己都合により退職したため、「基礎薬理学」の担当者としてJuan Diego Maya准教授相当が自己都合により退職したため、「基礎薬理学」の担当者としてJuan Diego Maya准教授相当が就任。
 ・ 平成30年3月にDiego Catalán助教相当が自己都合により退職したため、「細胞分子免疫学」の担当者としてFabiola Osorio助教相当が就任。
 ・ 平成31年4月にRodrigo Assar助教相当が新規科目の「生物統計学Ⅱ」を担当。
 ・ 平成31年4月にVerónica Aliaga Castillo助教相当が就任し、新規科目の「研究の生体倫理」を担当。

- - 32

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

- (2) 専任教員数等
- (注)・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員 (研究指導教員等)が兼ねて担当する場合も含める)について記入してください。
 - (2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
30	20	研究指導教員数と研究指導補助教員数を 合わせて60以上
名	名	名

- (注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員数【大学院】

	計画				現在	(報告時) 0)状況							
教 授 准		教授	選 講 師		助教	計 (A)	教 授	教 授 准		講師		助教	計 (B)		
29		12	2 9		11	61	38		9	6		8	61		
(31)		(11)	(8)		(11)	(61)									
研究指導教 数	研究指 教員			義のみ担当 の教員数		研究指導教 数	員	研究指 教員			養のみ担当 の教員数				
50 (50)			10 0 (10) 0				53		7	7		1			
Į	見在	(報告日	寺) の完	成年	∓度時の状況	2	現在(報告時)の完成年度時の計画								
教 授	/	准教授 講 師		师	助教	計 (C)	教 授	教 授)		講師	師	助教	計 (C)		
38		9	6		8	61	38		9 6		9 6			8	61
[9]	9] [\(\Delta 3 \)] [\(\Delta 3 \)]		[△3]	[0]	[9]	[∆3]	[△3]	[△3]	[0]				
研究指導教 数	員				義のみ担当 の教員数		研究指導教 数			指導補助 語 員数		養のみ担当 の教員数			
53		7 1			1		53		7	7		1			
[3]	[_	73]	[1]		[3]	[△	3]	[1]	/		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員書査を受害済みであり、 完成年度までに就任する教員数を加えた数を配入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合:△1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名減の場合:△1)

 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 - 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 るが、城は中にもフィルディーを記していた。 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A)	= 61 =	100	%
改直吁の計画(A)	01		1

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	_	0	0	%
現在(報告時)の状況(B)	_	61	U	90

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

- (注)・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の 専任教員研究指導教員等) が兼ねて担当する場合も含める) について記入してください。
 - (3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	1	後任	補充状	況	京	忧任辞	退(未	就任)の理	由	
1	准教授	井上 明宏	H28. 3	必修	特別研究(東京医科歯科	大学)	1		他大学への転出のため退職(28)						
				選択	大腸肛門外科臨床	基礎		1							
2	准教授	小林 宏寿	H27. 6	選択	大腸肛門外科臨床応	用I		1		14h +886	BB ^ 4	ヽ#ニ 山 ∠	のため退職	(20)	
_	准教授	小林 本寿	п27. 0	選択	大腸肛門外科臨床応	用Ⅱ		1		地依	(美) 1 1 0	ノギム山で	リためル区戦	(20)	
				必修	特別研究(東京医科歯科	大学)		1							
3	講師	岡田 随象	H28. 3	選択	バイオインフォマティ	ウス		2		他大学への転出のため退職(28)					
3	一件可	岡田 随家	1120. 3	必修	特別研究(東京医科歯科	大学)		1							
4	講師	浦山 ケビン	H27. 12	選択	バイオインフォマティ	クス		2		他大学への転出のため退職 (28)					
4	一件可	畑田 グレン	1127.12	必修	特別研究(東京医科歯科	大学)		1		他八子・〇私田のため返職(20)					
				選択	上部消化管外科臨床	基礎		1							
5	助教	宮脇豊	H27. 3	選択	上部消化管外科臨床员	5用 I		1			5 - 7 #17	<u>۸</u> ۸ ۲-	め退職 (28)	١	
5	助叙	古脇 豆	1127. 3	選択	上部消化管外科臨床点	用Ⅱ		1			1 1111	_ U) / C	(A) 区域((20)	,	
				必修	特別研究(東京医科歯科	大学)		1							
		A =1	(= \								- 44-				
		合計	(D)						後	任補充状況	の集調	it (E))		
京	优任を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) + (b) + (c)	1	の合計	数(a)	ı	②の合言	∤数(I	b)	③の合計	十数 (c)
			必	修	5 科目	必	修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選	択	8 科目	選	【択	6	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
	5	人	自	由	0 科目	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			100	†	13 科目	į	it	11	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由					
1	教授	竹田 秀	H28. 7	必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1	自己都合のため退職 (29)					
				選択	上部消化管外科臨床基礎	1						
2	助教	大槻 将	H28. 12	選択	上部消化管外科臨床応用I	1	自己都合のため退職 (29)					
_	助叙	八帆 付	1120. 12	選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	1	日に仰日のため返収(29)					
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
				選択	胃腸病内科臨床基礎	1						
3	准教授	荒木 昭博	H30. 3	選択	胃腸病内科臨床応用I	1	自己都合のため退職 (30)					
٥	准狄汉	ルハ 四日	1130. 3	選択	胃腸病内科臨床応用Ⅱ	1	日こ前日のため返載(50)					
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
				必修	初期研究研修	1						
				選択	大腸肛門外科臨床基礎	1						
4	准教授	安野 正道	H30. 3	選択	大腸肛門外科臨床応用 I	1	他機関への転出のため退職(30)					
				選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ	1						
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
				選択	上部消化管外科臨床基礎	1						
5	助教	谷岡 利朗	H30. 3	選択	上部消化管外科臨床応用I	1	自己都合のため退職 (30)					
Ĭ	P) 17	1 PJ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1100.0	1100.0	1100.0	1100.0		1.00.0	選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	1	
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
6	教授	石川 俊平	H30. 11	選択	ビッグデータ解析学	2	自己都合のため退職(元)					
Ŭ	10/10	IM KI	1100. 11	必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1	口口部口 07/2 07 医4%(707					
				選択	上部消化管外科臨床基礎	1						
				選択	上部消化管外科臨床応用I	1						
				選択	上部消化管外科臨床応用Ⅱ	1						
7	教授	小嶋 一幸	H30. 11		胃腸病内科臨床基礎	1	自己都合のため退職(元)					
				選択	胃腸病内科臨床応用I	1						
				選択	胃腸病内科臨床応用Ⅱ	1						
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
8	准教授	野村 渉	H31. 3	選択	機能分子化学	3	自己都合のため退職(元)					
		2,1,5		必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						
9	准教授	平野 智也	H31. 3	選択	機能分子化学	3	自己都合のため退職(元)					
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1	a company (20)					
				選択	大腸肛門外科臨床基礎	1						
10	准教授	石黒 めぐみ	H30. 10	選択	大腸肛門外科臨床応用I	1	自己都合のため退職(元)					
				選択	大腸肛門外科臨床応用Ⅱ	1						
				必修	特別研究(東京医科歯科大学)	1						

				選択	上部注	肖化管外科臨床	基礎	1							
	11 准教授 井ノロ 幹人		H30, 11	選択	上部注	化管外科臨床応	用 I	1		自己都合のため退職(元)					
1 1	准教授	井ノロ 幹ノ	. ПЗО. 11	選択	上部注	化管外科臨床応	用Ⅱ	1							
				必修	特別研	究(東京医科歯科	大学)	1							
1 2	講師	木津喜 雅	H30, 10	選択	疾患予以	iバブリックヘルス医	学概論	1		自己都合のため退職(元)			١		
1 2	바마바	水洋岩 推	1130. 10	必修	特別研	究(東京医科歯科	大学)	1							
1 3	講師	篠原 正浩	H30. 9	必修	特別研	究(東京医科歯科	京医科歯科大学)		学 自己都合のため退職(元)		
1 4	助教	鈴木 仁美	H30. 8	必修	特別研	特別研究(東京医科歯科大学)		1	自己都合のため退職(元))	
1 5	助教	小田柿 智之	H30. 10					1		Ĕ	自己都合	合のた	め退職(元))	
		1	計(F)						後	经任補充状 沉	の集計	(G)			
	辞任し	した教員数	担当科	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合語	十数 (a)	②の合計	十数(b))	③の合計	ł数(c)
			业	修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選	【 択	28	科目	選択	25	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
	15	Α.	É	曲	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			1	H	43	科目	計	40	科目	計	1	科目	計	2	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

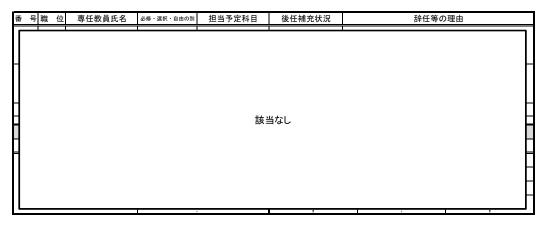
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	A=1 /B	\ /=\					4 IT H	**********	=1 / -		(0)			
	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数(a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)				
		必修	20	科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
		選択	36	科目	選択	31	科目	選択	3	科目	選択		2	科目
20	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
		計	56	科目	計	51	科目	計	3	科目	計		2	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況



- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に 辞任した教員が担当していた利目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に辞任した教員が担当していた科目については、不足なく後任補充を行った。また、指導教員を通じて学生へは履修に支障がない旨、十分に 説明を行った。(元)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年)	1. 修了要件191単位 は、で要件191単位 は、で要件国力学を 要件国大なの を連るの を連るの での をでは での での での での での での での での での での での での での	留意事項	1. 学生への説明について 学面接試験で学生に丁といい に 一	履行済	
認 可 時 (平成28年)	2. 研究指導に係る情報を表現では、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでのでであり、 でのでであり、 ででである。 できる	留意事項	2. 大コの会員 れ下た①指ル学向員任②です回議運③場法う 東及デ員設名にで ししを、、がす運を会所でしたのでででは、1、28)にいる「第28年のでは、1、28)には、1、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、	履行済	学生の研究等が本格的に 始まる2年次後期まで の点にで学術委員会が学生の で検術を で検術を で検術を で検術を で対して で対して ででである。 ②は では ででは ででである。 ②は ででである。 ②は ででである。 ②は ででである。 ②は ででである。 ②は でである。 である。 ②は でる。 ②は である。 ②は である。 ②は である。 ②は である。 ②は である で。 の。 ②は である。 ②は である。 ②は である。 ②は と。 でる と。 と。 と。 で。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。
認可時(平成28年)	3. 入学資格に国籍を制限している。 入学資格に国籍をいた では、	留意事項	3. 本件については設置というではいる。 本件についてはいます。 本件を修みのにしまる。 人教のではいる。 人教のではいる。 人教のでは、大、医学のでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	履行済	
認 可 時 (平成28年)	4. 年間の研究指導計画や成績評価基準が不明確であるため、学生が十分に理解できるよう、あらかじめ十分な説明を行うこと。	留意事項	4. 学生の経験及び希望により柔軟な年間研究指導計画を個別に組むため、指導教員が、入学直後の学生との面談で年間の研究指導計画及び成績評価基準について詳細な説明を行った。(28)	履行済	

	5. 連携外国大学との		5. 本国際連携専攻の教育研		
	調整を行う教員に関す		究分野において十分な臨床		
認可時	る業績等が明らかでな		経験を持ち、経験に裏付け		
	いが、調整を行い得る		られた専門的知識や技能を		
(亚古 0 0 左)	十分な能力を持った者		備え、学生の修学上における場合における。		
(平成28年)	を配置し、連携外国大		る問題点を総括的に指導で きる者を本学のチリ拠点に		
	学との連絡調整に支障 をきたすことのないよ		配置した。		
	う十分な体制を構築す		記載した。 当該調整教員は、平成15年3		
	ること。		月に本学医学部医学科を卒		
	3 = 2 5		業後、関連病院を経て、国		
			立がん研究センターの消化		
			管内視鏡科で内視鏡診断・		
			治療に従事してきた。平成		
			26年11月から本学のチリ拠		
			点に着任し、チリ国を始め とする南米諸国の医師に日		
			本式の内視鏡診断・治療技		
			術並びにその知識を教授す		
			るチリ国保健省と連携して		
		留意事項	実施している「大腸がん早	履行済	
		田心于久	期発見プロジェクト」に携	/技门//1	
			わっており、平成28年4月か		
			らは本専攻の調整教員として、チリ国におけるこれま		
			での活動経験や人脈を活か		
			し、精力的に活動してい		
			る。		
			異なる文化的・地理的・歴		
			史的背景を持つ人々と親し		
			い関係を築き、現地の生活		
			も熟知していることから、		
			生活面においても学生を支援できる。		
			援できる能力を十分有して いる。		
			以上のことから、当該教員		
			は、本国際連携専攻学生へ		
			の指導や、チリ大学等の教		
			員との連絡調整を行うため		
			に必要な能力を十分有して		
			いると考えている。 (28)		
	6. 協定書の締結に当		(20) 6. 学術委員会において協定		
	たっては、申請書に示		書に則り、本プログラムを		
認可時	されている内容を確実		運営している。学術委員会		
	に反映させること。		は、TV会議を通じて月1回程		
		留意事項	度開催している。	履行済	
(平成28年)			(4/18に学術委員会を予定		
			していたがチリの大雨のた		
			め5/9に延期。)(28)		
設置計画履行状況					
	該当なし				
(平成28年)					
設置計画履行状況					
調査時	該当なし				
	m> ⊒ .6 O				
(平成29年)					
3. 栗牡南房在此中					
設置計画履行状況					
調査時	該当なし				
(平成30年)					
(1,%,004)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①協定書	(変更内容)
1. Name of the Program Name of the course is "University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a subspecialty". (1. 専攻名 国際連携医学系専攻) 26. Language The language used in this program is English. Spanish or Japanese is a requirement for clinical instruction. (26. 使用言語 英語とする。ただし、臨床教育はスペイン語又は日本語と する。)	1. Name of the Program Name of the course is "University of Chile and TMDU Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences with mention of a medical specialty". (1. 専攻名 国際連携医学系専攻) 26. Language The language used in this program is English and/or Spanish. Spanish is a requirement to obtain the clinical specialty in Chile and Japanese to obtain the clinical subspecialty in Japan. (26. 使用言語 英語あるいはスペイン語とする。ただし、チリにおける専 門医の資格(Specialty)を得るためにはスペイン語、日本に おけるサブスペシャリティ領域専門医資格(Subspecialty) を得るためには日本語を必要とする。)
defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDU で規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUCh で規定された単位数の修了要件を満たさなければならない。なお、修得すべき最低単位数については別表 1 のとおりとする。 (2) JD プログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について前号の別表 1 に掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)	29. Requirements of Completion (1) In addition to completing the number of credits required by Japanese law and TMDU, students are required to complete the number of credits mandated by Chilean law and UCh. The required credits are specified separately by Memorandum of Agreement (hereinafter referred to as "MOA"). (2) To complete the JD program, students should attend 5 or more years: complete the required number of credits listed in MOA: receive necessary research guidance: submit a thesis: and pass a thesis defense and final examination. (29. 修了要件 (1) 修了にあたっては、日本の法令及びTMDUで規定された修得すべき単位数の修了要件を満たすほか、チリの法令及びUChで規定された単位数の修了要件を満たすなければならない。なお、修得すべき最低単位数についてはMemorandum of Agreement (以下MOA)で別に定める。(2) JDプログラムを修了するためには、本専攻に5年以上在籍し、所定の授業科目について前号のMOAに掲げる必要単位数以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。)
31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is explained in Annex 2. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同して行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDU における各授業科目の成績は、0 から4 までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UCh における各授業科目の成績は、1.0 から7.0 までの点数で評価され、4.0 以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算については別表 2 のとおり	31. Assessment of Performance (1) Grading of each course shall be conducted by the university where said course is implemented. Jointly operated courses shall be conducted by both universities jointly. (2) The teaching staff in charge of each course shall grade the course based on exam, report of research, etc. at the end of semester or academic year. (3) At TMDU, the performance of students shall be graded on a 5-point scale, namely 4, 3, 2, 1 and 0. Only students achieving one of the first four grades will be deemed to have passed the course. (4) At UCh, the performance of students shall be graded on a scale of 1.0~7.0, with students earning a score of 4.0 or higher passing the course. (5) The conversion of grading metrics between both universities is specified separately by MOA. (31. 成績評価 (1) 授業科目の評価は、その科目を開設する大学が行うものとする。ただし、両大学が共同で実施する科目については、両大学が共同して行うものとする。 (2) 各授業科目の評価は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。 (3) TMDUにおける各授業科目の成績は、0から4までの5種の点数で評価され、「1」以上を合格とする。 (4) UChにおける各授業科目の成績は、1.0から7.0までの点数で評価され、4.0以上の点数を合格とする。 (5) 両大学における成績の換算についてはMOAに別に定め

【東京医科歯科大学】 【東京医科歯科大学】 President Dr. Yasuyuki Yoshizawa Dr. Yasuyuki Yoshizawa President Tokyo Medical and Dental University (TMDU) Tokyo Medical and Dental University (TMDU) (学長 (学長 吉澤靖之 吉澤靖之 東京医科歯大学 (TMDU)) 東京医科歯大学 (TMDU)) Dr. Yoshinobu Eishi Dean, Faculty of Medicine Dean, Faculty of Medicine Dr. Yoshinobu Eishi Tokyo Medical and Dental Tokyo Medical and Dental University (TMDU) University (TMDU) (医学部長 (医学部長 江石義信 江石義信 東京医科歯大学 (TMDU)) 東京医科歯大学 (TMDU)) 【チリ大学】 【チリ大学】 Dr. Ennio Vivaldi Dr. Ennio Vivaldi Rector University of Chile(UCh) University of Chile(UCh) (学長 Dr. Ennio Vivaldi (学長 Dr. Ennio Vivaldi チリ大学(UCh)) チリ大学 (UCh)) Dean, Faculty of Medicine Dr. Manuel Kukuljan Dr. Manuel Kukuljan University of Chile(UCh) Dean, Faculty of Medicine University of Chile(UCh) (医学部長 (医学部長 Dr. Manuel Kukuljan Dr. Manuel Kukuljan チリ大学 (UCh)) チリ大学 (UCh)) Mr.Gonzalo Grebe Mr.Gonzalo Grebe CE0 Clinica Las Condes(CLC) Clinica Las Condes(CLC) (CEO (CEO Mr Gonzalo Grebe Mr. Gonzalo Grebe クリニカラスコンデス(CLC)) クリニカラスコンデス(CLC)) Academic Director Dr. Juan Pablo Torres Dr.Patricio Burdiles Clinica Las Condes(CLC) Research Director Clinica Las Condes(CLC) (アカデミックディレクター (リサーチディレクタ-Dr.Patricio Burdiles Dr. Juan Pablo Torres クリニカラスコンデス(CLC)) クリニカラスコンデス (CLC)) (28)

② 協議の場

個々の大学院生に対する日常の学術活動の調整は、東京 医科歯科大学、チリ大学およびCLC から少なくとも1 名以 上の教員(教授あるいは准教授(相当))よりなる学術委 員会(総員5 名以上)が行う。少なくとも1 ヶ月に1 度の テレビ会議システムを通じてきめ細やかな指導体制を構築 する。

【実施状況】

平成28年4月18日に予定されていたが、チリでの大雨の 影響により開催を延期した。

第1回

平成28年5月9日(月)20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 設置計画履行状況報告書等について
- 3. 単位について
- 4. MOUについて
- 5. 知的財産権について
- 6. 学生の指導について
- 7. その他

(28)

第2回

平成28年6月14日(火)20時30分~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. シラバスの公表について
- 3. 単位の認定について
- 4. 知的財産権について
- 5. 来年度の試験日程について
- 6. プログラム運営における責任の所在について
- 7. 学生指導について
- 8. 学部長会議について
- 9. その他

第3回

平成28年7月21日 (木) 20時30分~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. シラバスの公表について
- 3. 単位の認定について
- 4. 来年度の入学試験日程について
- 5. その他

第4回

平成28年9月26日(月)20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
- 3. 12月の訪問団の準備について
- 4. JDPの発展及び2017年の割当について
- 5. 日本人のリクルートについて
- 6. その他

第5回

平成28年10月17日(月)20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 単位認定について
- 3. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
- 4. 12月の訪問団の準備について
- 5. Joint Workshop 2016@TDMU(FD研修について)
- 6. その他

第6回

平成28年11月22日(月)20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. マルガリータ・アウマダ氏のプレゼンテーション
- 3. パトリシア・ゴメス医師の日本訪問について
- 4. 12月の訪問団の準備について
- 5. Joint Workshop 2016@TDMU(FD研修)について
- 6. TMDU教員のチリ出張について
- 7. 日本留学フェアについて
- 8. その他

第7回

平成28年12月7日(月)15時10分~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 学術委員会委員について
- 3. 入学試験について
- 4. 消化器内科のプログラム内容について
- 5. 学部長会議について
- 6. その他

第8回

平成29年1月31日(火)20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. TMDU教員のチリ出張について
- 3. MOAについて
- 4. その他

第9回

平成29年3月21日 (火) 20時~

【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 学術委員会委員について
- 3. 単位認定について
- 4. 設置計画履行状況報告書等について
- 5. TMDU教員のチリ出張について
- 6. 学部長会議について
- 7. 次回会議について
- 8. MOAについて
- 9. その他

第1回

平成29年4月10日(月) 16時20分~ 【議題】

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 学術委員会委員について
- 3. 消化器内科学コースについて
- 4. 上部消化管外科学コースについて
- 5. その他

(29)

第2回

平成29年6月13日 (火) 20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 10月入学の試験日程について
- 3. チリ大学教員の渡日について
- 4. 学生の指導について
- 5. その他

第3回

平成29年7月26日(水)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 10月入学の試験日程について
- 3. 各試験委員について
- 4. 進級試験及び評価試験委員会について
- 5. チリ大学教員の渡日について
- 6. その他

第4回

平成29年8月8日(火)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 合同面接試験の結果について
- 3. チリ大学教員の渡日について
- 4. Joint Workshop 2017@TDMU(FD研修)について
- 5. その他

第5回

平成29年8月22日(火)7時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 合同面接試験の結果について
- 3. その他

第6回

平成29年9月26日 (火) 20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 指導教員について
- 3. 自己点検・評価及び外部評価委員会について
- 4. チリ大学教員の渡日について
- 5. Joint Workshop 2017@TDMU(FD研修)について
- 6. その他

第7回

平成29年10月31日(火)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 学術委員会の委員について
- 3. 単位認定について
- 4. UChにおけるTMDUの科目認定について
- 5. 学生の履修計画について
- 6. 奨学金について
- 7. 自己点検・評価について
- 8. チリ大学教員の渡日について
- 9. 次回会議について
- 10. その他

第8回

平成29年11月28日 (火) 15時40分~ 及び

平成29年11月29日 (水) 15時40分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学試験の日程について
- 3. 出願資格の緩和について
- 4. 学生への経済的支援について
- 5. 自己点検・評価について
- 6. その他

第9回

平成29年12月28日 (木) 8 時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学試験について
- 3. 自己点検・評価について
- 4. 第三者評価委員会について
- 5. 進級試験及び評価試験委員会について
- 6. 学部長会議について
- 7. その他

第10回

平成30年1月30日(火)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学試験について
- 3. 自己点検・評価について
- 4. 第三者評価委員会について
- 5. 学部長会議について
- 6. 学生に関する確認事項について
- 7. その他

第11回

平成30年3月27日(火)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学試験について
- 3. 単位認定について
- 4. 学生に関する確認事項について
- 5. 第三者評価委員会の結果について
- 6. 設置計画履行状況報告書等について
- 7. その他

第1回

平成30年4月24日(火)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 進級試験及び評価試験委員会について
- 3. 設置計画履行状況報告書等について
- 4. その他

(30)

第2回

平成30年5月22日(火)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 出願資格の緩和について
- 3. 入学者選抜試験について
- 4. 進級試験及び評価試験委員会について
- 5. チリ大学における日本人用の授業科目について
- 6. その他

第3回

平成30年6月28日(木)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学者選抜試験について
- 3. 進級試験及び評価試験委員会について
- 4. その他

第4回

平成30年7月24日(火)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学者選抜試験について
- 3. 学位論文審査について
- 4. その他

第5回

平成30年9月6日(木)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 合同面接試験の結果について
- 3. トレス先生の来学について
- 4. Joint Workshop 2018@TDMU(FD研修) について
- 5. 自己点検・評価について
- 6. その他

第6回

平成30年10月11日(木)20時30分~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 合同面接試験の結果について

第7回

平成30年10月29日(月)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 修了要件について
- 3. 単位認定について
- 4. 入学資格の緩和について
- 5. 入学者選抜試験の日程について
- 6. 指導教員について
- 7. 学生の履修計画について
- 8. 学生への経済的支援について
- 9. 自己点検・評価について
- 10. その他

第8回

平成30年12月12日(水)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 学術委員会の委員について
- 3. 指導教員について
- 4. 自己点検・評価について
- 5. 入学者選抜試験の日程について
- 6. 転専攻について
- 7. 学生アンケートの結果について
- 8. 学部長会議について
- 9. その他

第9回

平成31年1月31日 (木) 20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学者選抜試験について
- 3. 修了要件について
- 4. 自己点検・評価について
- 5. 学部長会議について
- 6. 学生の研究活動について
- 7. その他

第10回

平成31年3月26日(火)20時~

- 1. 前回議事要旨について
- 2. 入学者選抜試験について
- 3. 単位認定について
- 4. MOAについて
- 5. 学生の研究活動について
- 6. その他

(元)

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況 (開催日・議題等)を記載してください。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京医科歯科大学及びチリ大学合同の学術委員会で行う予定である。(28) 東京医科歯科大学及びチリ大学合同の学術委員会で行っている。規則は別添参照。(29)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

毎月1回開催する予定であり、平成28年度第1回学術委員会は5月9日に開催した。(28) 毎月1回開催しており、教員及び関係事務が出席している。(29)

- c 委員会の審議事項等
- (1) 入学者選抜に関する事項
- (2) 学生の身分(在籍の管理)及び安全に関する事項
- (3) 学生の奨学及び厚生補導に関する事項
- (4) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (5) 教育組織の編成に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 研究指導教員の選定に係る事項
- (8) 評価試験委員会の設置に関する事項
- (9) 学位授与及び課程修了に関する事項
- (10) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (11) その他両大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

開講初年度のため現在未決定ではあるが、各専門分野の教員が最先端の知識を全教員にフィードバックする予定である。(28)

平成28年12月チリ人教員3名を招聘し、高等教育制度や両国におけるサブスペシャリティの現状について 講演を行った。また講演内容に関するアンケートを実施し、次年度の教職員FD研修に活かす予定である。(29) 平成29年11月チリ人教員3名を招聘し、日本の新専門医制度や治療法の現状について講演を行った。(30) 平成30年9月チリ人教員1名が本学を訪問し、JDP及び本学の国際的な健康増進の取組について講演を行った。(元)

b 実施方法

テレビ会議システムの使用または訪問、招聘による実施方法を検討している。(28)

日本にチリ大学教員3名を招聘し、本学にて実施した。(29)

日本にチリ大学教員3名を招聘し、本学にて実施した。(30)

チリ大学教員1名が本学を訪問し、本学にて実施した。(元)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。(28)

2日間に渡り行われ、大学教職員及び学生を含め、計63名が参加した。(29)

2部構成で行われ、大学教職員及び学生を含め、計65名が参加した。(30)

大学教職員及び学生を含め、計12名が参加した。欠席者に対してはDVDにて後日共有した。(元)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開講初年度のため、来年度以降実施する予定である。(28)

本学においては研修内容を3年次以降の本学での臨床研修に活かす予定である。また、情報共有するために チリ大学へDVDを送付し、研修内容の一部をチリ大学HPに掲載し、その他教員が閲覧できるようにした。(29)

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

今年度末に学生に対して実施予定である。(28)

平成29年4月に学生アンケートを行い、結果についてテレビ会議で共有する予定である。(29)

平成30年10月以降に学生アンケートを行い、結果についてテレビ会議で共有する予定である。(30)

b 教員や学生への公開状況, 方法等

学術委員会等において審議・報告する予定である。(28)

学術委員会等において審議・報告した。(29)

学術委員会等において審議・報告する予定である。(30)

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度のため今年度は実施できないが、来年度以降毎年度学術委員会で自己点検・評価を行う予定である。(28) 平成30年3月に学術委員会及び医学部長会議にて自己点検・評価及び外部評価を行う予定である。(29)

平成30年3月に学術委員会及び医学部長会議にて自己点検・評価報告書を作成した。その後外部評価委員会に作成した 報告書を提出し、プログラムは「II.計画を十分に実施している」との評価を受けた。

外部評価委員会委員から出た意見については、学術委員会及び医学部長会議で共有された。(30)

平成31年3月に学術委員会及び医学部長会議にて自己点検・評価を行った。(元)

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・平成29年度実施後速やかに公表する。(28)
 - ・平成29年度実施分についてはホームページにて公表している。(30)
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定。(28)
 - ・大学ホームページ上に公開。(30)
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・東京医科歯科大学における認証評価は令和2年度までに審査を受ける予定である。またチリ大学においては本専攻は既 存プログラムであるチリ大学大学院メディカルサイエンスプログラムに組み込まれており、今年度当該プログラムは外部 機関による認証評価を受審予定である。(28)
- ・東京医科歯科大学における認証評価は令和2年度までに審査を受ける予定である。またチリ大学においては本専攻は既 存プログラムであるチリ大学大学院メディカルサイエンスプログラムに組み込まれており、平成28年8月に当該プログラ ムは外部機関による認証評価を受審し、平成28年8月から平成32年8月まで認められている。(29)
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

0 1	设置計画履行状況報告書(令和元年度)			
а	ホームページへの公表予定の有無		• 無)	
b	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元年	6月頃予定)	
b	公表無の場合の特段の理由()	

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、 「無」にマルを記入してください。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻学術委員会内規

平成29年4月13日 制 定

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻学部長会議内規(平成29年制定)第9条第2項に基づき、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻学術委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

- 第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学専攻の教授又は准教授 2名以上
 - (2) チリ大学の教授又は准教授 2名以上
 - (3) その他委員長が必要と認める者
- 2 前項の委員は所属する大学の学長が委嘱する。

(委員の任期等)

- 第3条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 2 委員の任期の末日は、当該委員を委嘱する学長の任期の末日以前とする。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

- 第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 入学者選抜に関する事項
 - (2) 学籍に関する事項
 - (3) 厚生補導に関する事項
 - (4) 授業計画及び履修に関する事項
 - (5) 教育組織の編成に関する事項
 - (6) 教育方針及び教育方法に関する事項
 - (7) 進級及び修了の認定に関する事項
 - (8) 学位論文審査に関する事項
 - (9) 教育研究活動状況等の評価に関する事項
 - (10) その他国際連携医学系専攻の教育研究に関し必要な事項
- 2 前項に掲げる事項に関して、東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻学部長会議において審議又は報告するものとする。
- 3 前項に掲げる事項に関して特に必要があると認めるときは、医歯学総合研究科医学系研究科運営委員において審議又は報告するものとする。

(委員長)

- 第5条 委員会に、委員長を置く。
- 2 委員長は、第2条第1項第1号又は第2号の委員の中から1名を選出する。
- 3 委員長は委員会を招集し、これを主宰する。
- 4 委員長に事故があるときは、委員長の指名する者がその職務を代行する。

(開催)

第6条 委員会は、原則として毎月1回開催するものとする。ただし必要があると認めると きは、臨時に開催することができる。

(議事)

- 第7条 委員会は、第2条第1項第1号及び第2号に規定する委員から各2名以上出席がなければ、会議を開き、議決することができない。
- 2 欠席する委員は、職務の都合上やむを得ない場合、欠席委員以外の委員を代理人とする 委任状を提出し、出席とすることができる。
- 3 議事は出席した委員(委任状を除く。)の過半数を持って決し、可否同数のときは決定を 保留し再審議とする。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会)

- 第9条 学位論文審査に関する事項について試験を行うため、次の委員会を置く。
 - (1) 東京医科歯科大学・チリ大学学位取得試験委員会
 - (2) 東京医科歯科大学・チリ大学評価試験委員会
- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第10条 委員会の事務は、統合国際機構事務部国際交流課において処理する。

(雑則)

第11条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に 定める。

附 則

- この内規は、平成29年4月13日から施行し、平成28年4月1日から適用する。 附 則(平成30年6月21日制定)
- この内規は、平成30年6月21日から施行し、平成30年4月1日から適用する。 附 則(平成30年7月2日制定)
- この内規は、平成30年7月2日から施行し、平成30年4月1日から適用する。